

## 2. 現状分析

### 2-1. 人口

#### (1) 人口推移

##### ①市全体の人口の推移

- 本市の人口は、昭和40年は約4万人でしたが、10年後の昭和50年には約8万人、昭和60年には約12万人、平成7年には約16万人と、昭和40年からの30年間で約4倍に急増しました。
- 平成10年代に入り、人口は微増傾向に変わりましたが、平成22年をピークとして微減傾向に転じています。
- 昭和50年以降、年少人口率は減少傾向、高齢化率は上昇傾向にあり、少子高齢化が進行しています。
- 令和2年の本市の人口は、174,695人となっています。

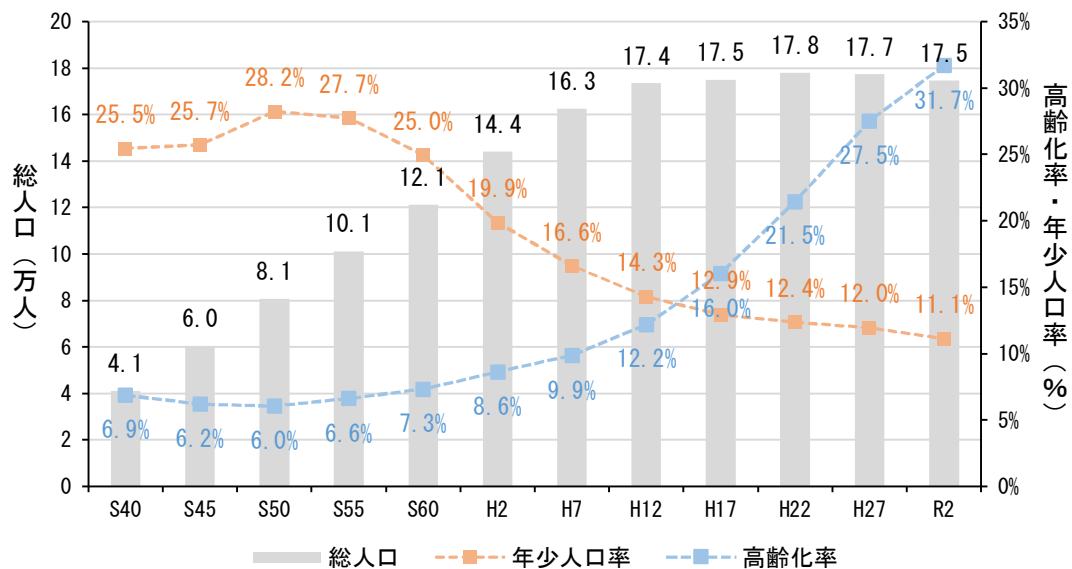


図 総人口及び高齢化率・年少人口率の経年推移

(資料：平成2年まで国勢調査、平成7年以降は住民基本台帳人口)

※平成7～17年には外国人を含まない

高齢化率 ……老年人口(65歳以上)の総人口に占める割合 (老年人口/総人口×100)

年少人口率……年少人口(0～14歳人口)の総人口に占める割合 (年少人口/総人口×100)

## ②人口集中地区（DID）の変遷

- 人口集中地区（DID）は人口、面積ともに増加していますが、平成12年をピークとして人口密度は緩やかに低下しています。
- 令和2年の市全体に占めるDIDの割合をみると、市域の約20%に相当する面積の中に、約80%の市民が暮らしており、コンパクトな都市構造を形成しています。

※ 人口集中地区：国勢調査基本単位区及び基本単位区内に複数の調査区がある場合は調査区（以下「基本単位区等」という。）を基礎単位として、1)原則として人口密度が1平方キロメートル当たり4,000人以上の基本単位区等が市区町村の境域内で互いに隣接して、2)それらの隣接した地域の人口が国勢調査時に5,000人以上を有する地域

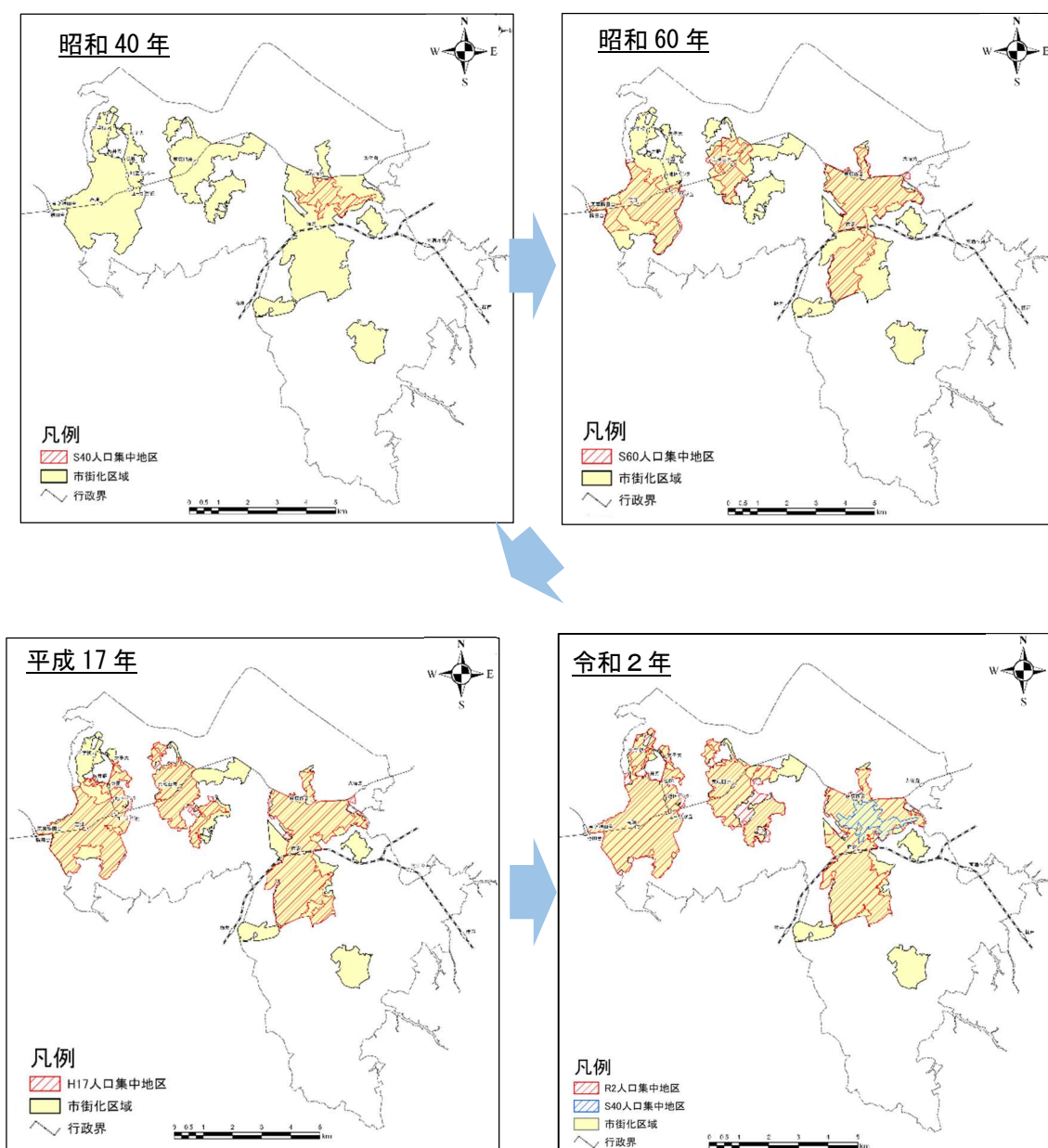
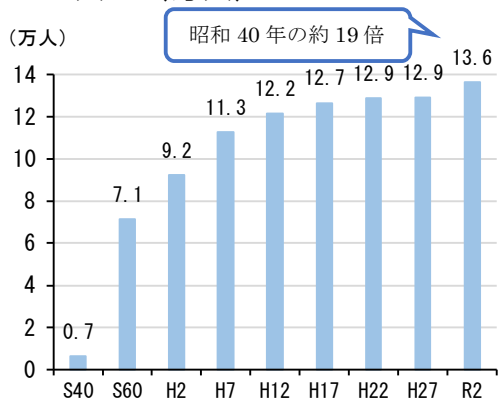


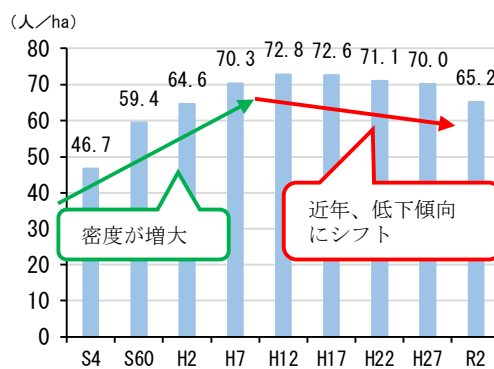
図 佐倉市の人口集中地区（DID）の比較

（出典：国勢調査）

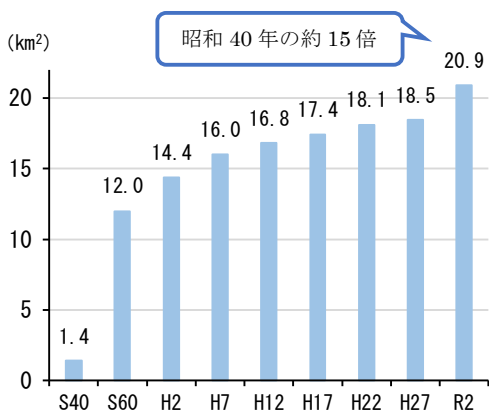
■DID人口（万人）



■DID人口密度（人/ha）



■DID面積（km<sup>2</sup>）



■市全体に占めるDIDの割合（%）

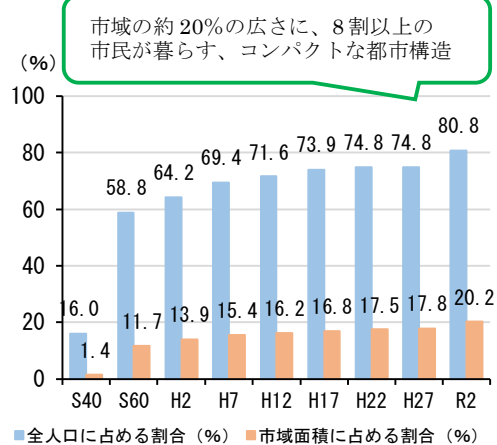


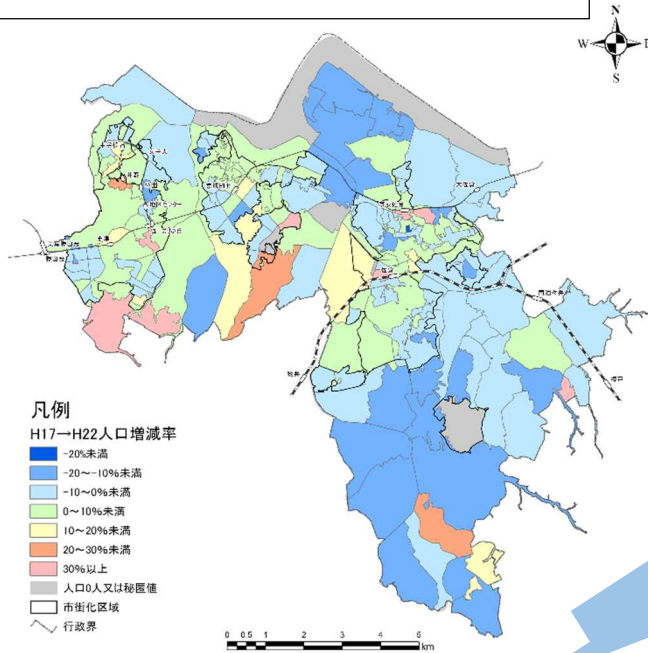
図 佐倉市の人口集中地区（DID）の変遷

（出典：国勢調査）

### ③小地域別の人口推移

- 平成17年から平成22年の人口推移は、市街化区域を中心に人口増加がみられる地域が広がっております。また、市街化調整区域内の一部においても増加している小地域があります。
- 平成27年から令和2年の人口推移になると、市街化区域、市街化調整区域問わず、人口が減少している地域が多くなっています。一方で、ユーカリが丘線周辺の一部とJR佐倉駅周辺の一部では人口が30%以上増加しています。

平成17年(2005)→平成22年(2010)の人口推移



平成27年(2015)→令和2年(2020)の人口推移

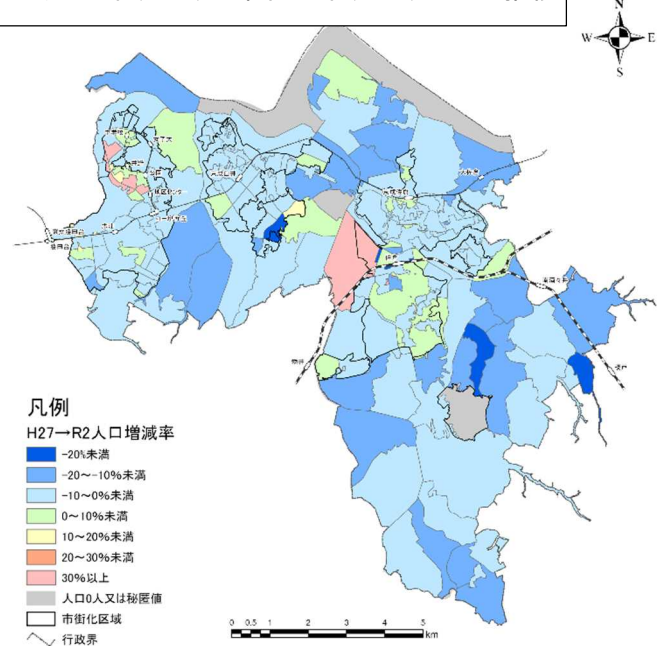


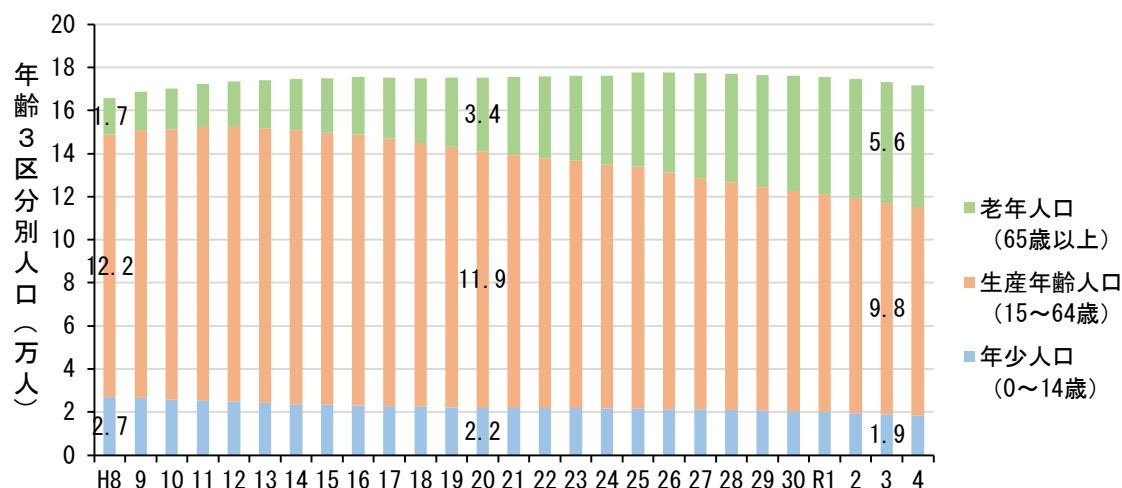
図 小地域(町丁・字など)別の人口増減率(出典:国勢調査)

## (2) 人口の構成

### ①市全体の人口構成

- 令和3年の人口構成割合をみると、年少人口が10.9%、生産年齢人口は56.6%、老年人口は32.5%となっています。
- 平成8年と比較すると、老年人口の占める割合が約3倍に増加する一方、年少人口の占める割合は約3割減少しており、少子高齢化が進行しています。

### ■年齢三区分別人口



### ■年齢三区分別人口構成比

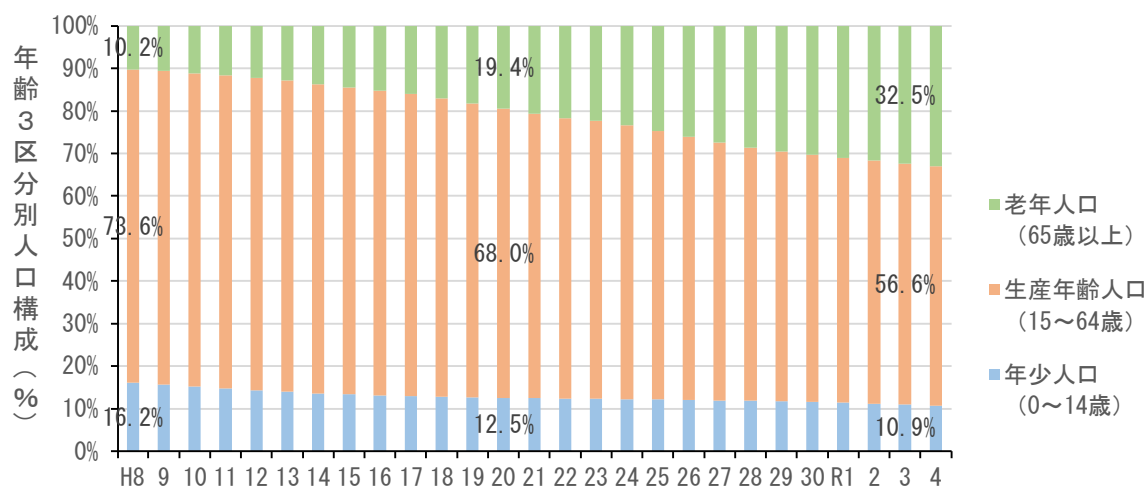


図 年齢三区分別の人口及び人口比率

(出典：住民基本台帳(各年3月末))

## ②小地域別の高齢化率（総人口に占める 65 歳以上人口の割合）

- 30%を超える高齢化率は、平成 22 年では主に市街化調整区域で広がっていましたが、令和 2 年では、市街化区域、市街化調整区域問わず、市内の広範囲に広がっています。
- 高齢者数は、市街化区域内の住宅団地で多くなっており、特に臼井・千代田地域、佐倉・根郷地域で高齢者が多くなっています。

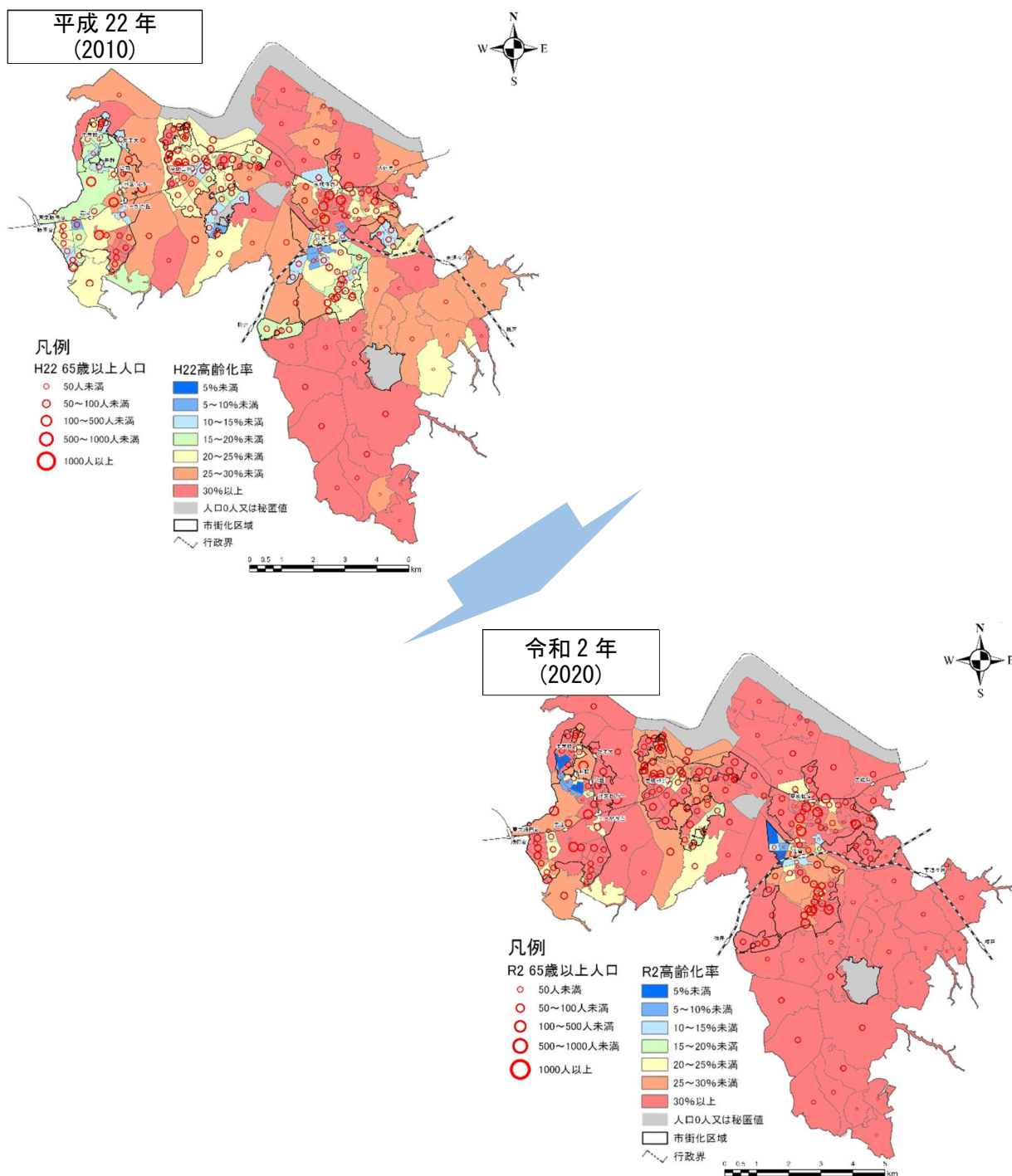


図 小地域別の高齢化率

(出典：国勢調査)

### (3) 人口動態

#### ①自然動態・社会動態の推移

- 自然動態は、平成 20 年以降は一貫して自然減で推移しており、減少数は年々拡大しています。
- 社会動態は、平成 28 年までは各年で増加と減少を繰り返していましたが、平成 29 年以降は社会減で推移しています。
- 平成 20 年から増加が続いた人口は、平成 24 年に減少に転じ、それ以降減少が続いています。

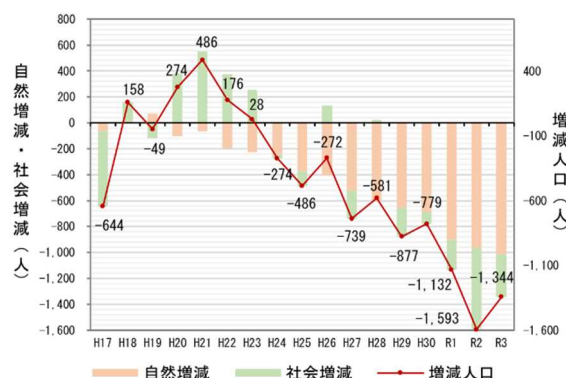


図 人口動態の推移 (出典：住民基本台帳)

#### ②5 歳階級別人口推移の状況

- 5 歳階級別に平成 22 年から平成 27 年、平成 27 年から令和 2 年の 5 年間の人口増減をみると、進学や就職により生活スタイルや活動範囲が大きく変化する 20 歳前後で人口の減少が顕著となっています。
- 35～39 歳の人口は、平成 22 年から平成 27 年は 281 人増加していましたが、平成 27 年から令和 2 年では -22 人となり、減少に転じています。
- 40～44 歳、45～49 歳は、平成 22 年から平成 27 年では大きく増加していましたが、平成 27 年から令和 2 年では、増加数が少なくなっています。

表 年齢階層別の 5 年後の人口

区分	H22			H27			H22→H27
	総数	男	女	総数	男	女	
総数	172183	84246	87937	172739	84434	88305	556
0～4歳	6447	3345	3102	6013	3105	2908	-
5～9歳	7246	3762	3484	6993	3650	3343	546
10～14歳	7761	3924	3837	7499	3886	3613	253
15～19歳	8082	4162	3920	7834	3938	3896	73
20～24歳	8802	4219	4583	7575	3745	3830	-507
25～29歳	9385	4549	4836	7861	3963	3898	-941
30～34歳	10322	5150	5172	8833	4410	4423	-552
35～39歳	12909	6481	6428	10603	5332	5271	281
40～44歳	11611	5905	5706	13263	6662	6601	354
45～49歳	10424	5128	5296	11868	6025	5843	257

区分	H27			R2			H27→R2
	総数	男	女	総数	男	女	
総数	172739	84434	88305	168743	82421	86322	-3,996
0～4歳	6013	3105	2908	4933	2530	2403	-
5～9歳	6993	3650	3343	6483	3345	3138	470
10～14歳	7499	3886	3613	7173	3738	3435	180
15～19歳	7834	3938	3896	7507	3872	3635	8
20～24歳	7575	3745	3830	7243	3642	3601	-591
25～29歳	7861	3963	3898	6534	3366	3168	-1,041
30～34歳	8833	4410	4423	7419	3765	3654	-442
35～39歳	10603	5332	5271	8811	4412	4399	-22
40～44歳	13263	6662	6601	10728	5431	5297	125
45～49歳	11868	6025	5843	13346	6709	6637	83

(出典：国勢調査)

### ③転入出・市内転居の動向（令和3年度の1年間）

#### A) 転入出・市内転居の動向

- 令和3年度の1年間の転入出数は、市外からの転入が5,358人、市外への転出が5,678人となっており、市全体では転出超過となっています。
- 転入出者の転居先・転居元の内訳は、転入・転出ともに、千葉県、東京都の割合が大きくなっています。

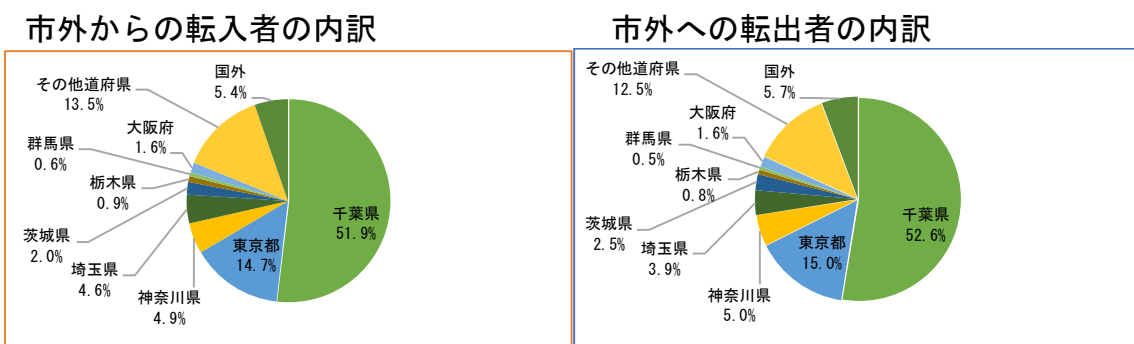
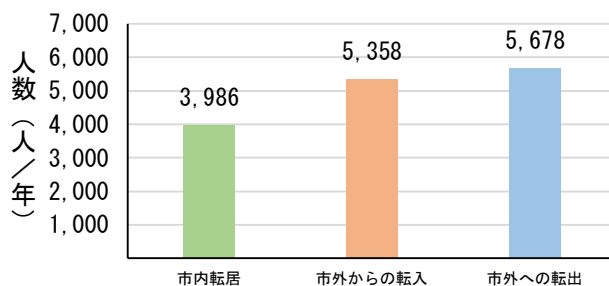


図 転入出・市内転居の総量及び転居先・転居元の内訳

(令和3年度住民基本台帳から佐倉市で独自に集計)

#### B) 地区別の転入出の動向

- 地区ごとの転入出の状況を見ると、佐倉地区、千代田地区は転入超過、臼井地区、志津地区、根郷地区は転出超過となっています。

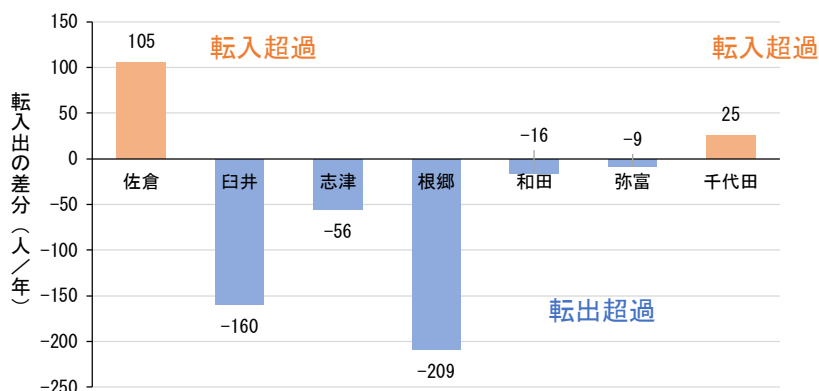


図 地区別の転入出者数の差分

(令和3年度住民基本台帳から佐倉市で独自に集計)



### C) 市内での転居の動向

- 市内での転居者の状況をみると、佐倉地区、千代田地区は転入超過、臼井地区、根郷地区は転出超過、志津地区は転入・転出数がほぼ同数となっており、地区別の転入の動向と概ね同様となっています。

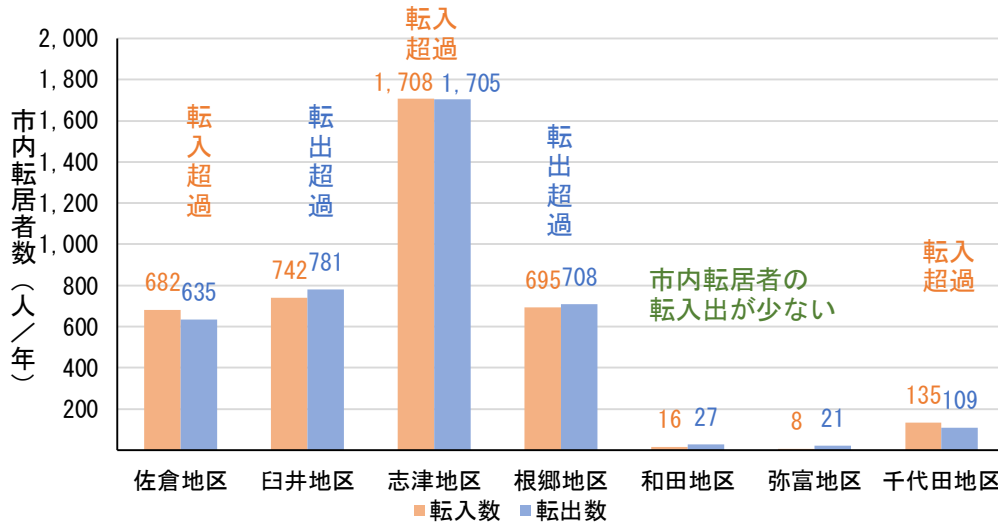


図 市内転居者の地区別転入・転出の状況

(令和3年度住民基本台帳から佐倉市で独自に集計)

### D) 駅勢圏内・外の移動の視点でみた転居の動向

- 市街化区域内での転居者は、駅勢圏内・外の視点でみると、駅勢圏内から駅勢圏外へ移動した転居者数よりも、駅勢圏外から駅勢圏内への転居者数の方が多くなっています。

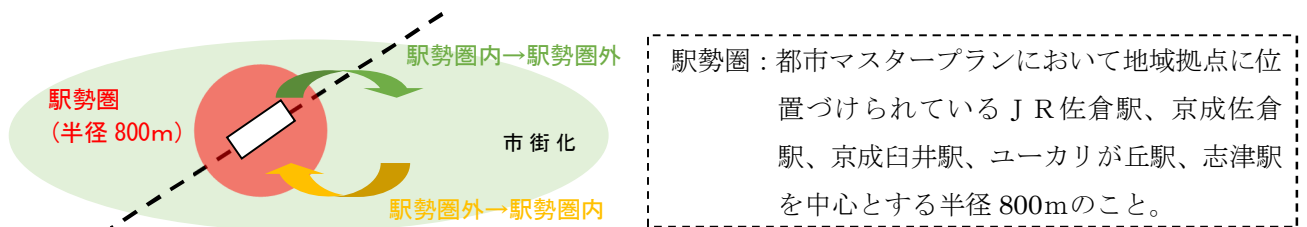
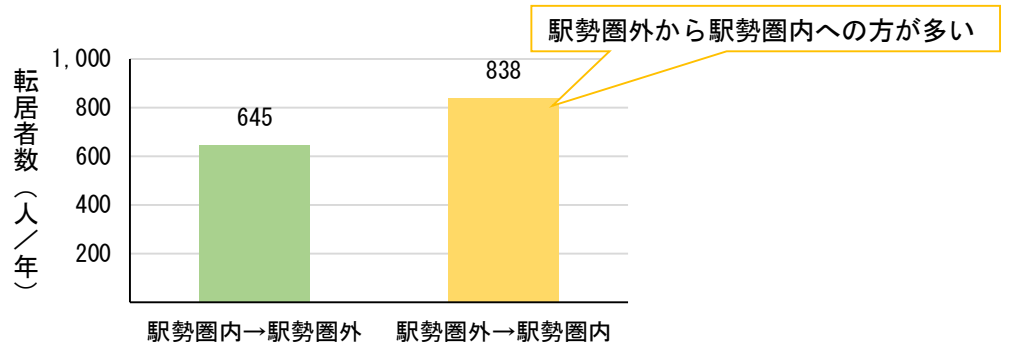


図 市内転居者の駅勢圏内・駅勢圏外間の状況

(令和3年度住民基本台帳から佐倉市で独自に集計)

#### (4) 昼夜間人口の推移

##### ① 昼夜間人口の推移

- 夜間人口、昼間人口ともに平成 27 年まで増加傾向でしたが、令和 2 年は夜間人口が減少に転じています。
- 昼夜間人口比率（昼間人口÷夜間人口×100（%））は、平成 17 年以降増加傾向にあり、令和 2 年は 85.8%となっています。

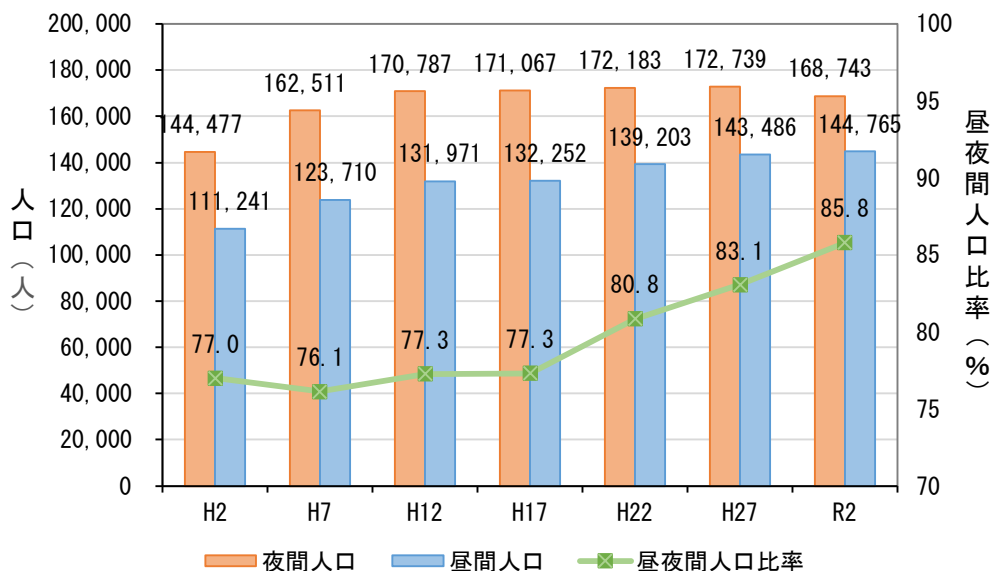


図 昼夜間人口の推移

※平成 17 年までの夜間人口には年齢不詳を含まない。

(出典：国勢調査)

##### ② 昼間人口の内訳

- 令和 2 年の昼間人口は約 14.5 万人で、内訳をみると、従業も通学もしていないが約 6.0 万人で、昼間人口の 41.6%を占めています。

表 佐倉市の昼間人口の内訳

		昼間人口	構成比
昼間人口		144,765	100.0%
内訳	佐倉市民	従業も通学もしていない	60,270 41.6%
		市内に常住し、市内で従業	40,750 28.1%
		従業地・通学地 不詳	18,272 12.6%
		労働力状態 不詳	1,085 0.7%
	それ以外	市外に常住し、佐倉市で従業	24,388 16.8%

(出典：令和 2 年国勢調査)

### ③ 滞留人口

#### A) 時間帯別の滞留人口

- 本市内に滞留する人口は、時間帯別で見ると早朝・夜間が多く、約 16 万人となっています。
- 9～17 時台は、約 13 万人で推移しています。
- 市内で活動中の滞留人口（帰宅、不明、移動無・開始前は含まない）は、11 時台がピークで約 6.4 万人となっています。

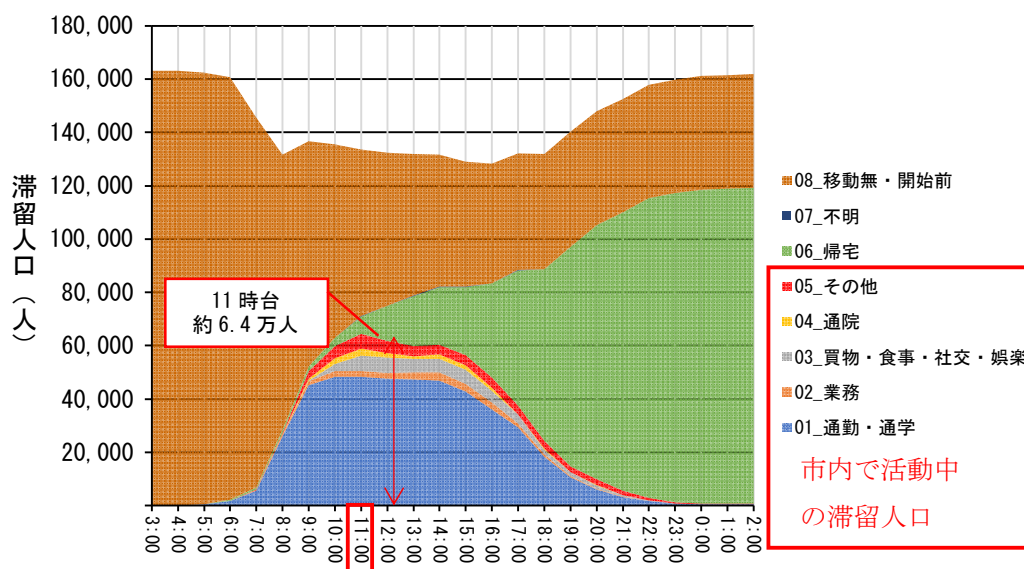


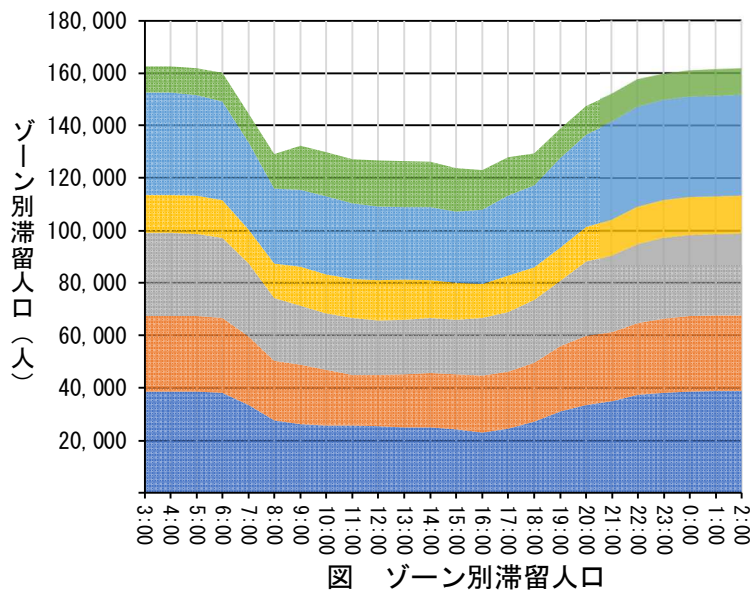
図 時間帯別の滞留人口

(出典：平成 30 年度東京都市圏パーソントリップ調査)

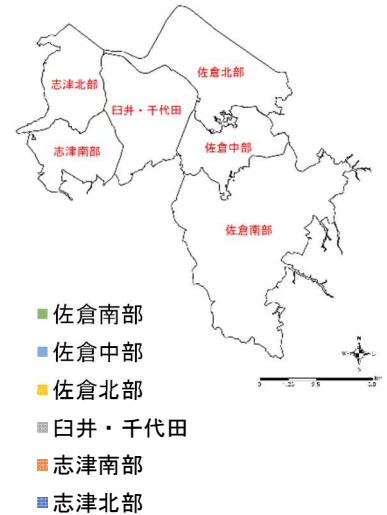
## B) ゾーン別の滞留人口

- 日中（9～17時台）におけるゾーン別の滞留人口割合をみると、佐倉中部が約22～24%で最も高く、次いで志津北部、臼井・千代田、志津南部の順で高くなっています。
- 佐倉南部、佐倉北部は夜間よりも日中の滞在人口割合が高く、志津北部、臼井・千代田は早朝・夜間の滞留人口割合が高くなっています。

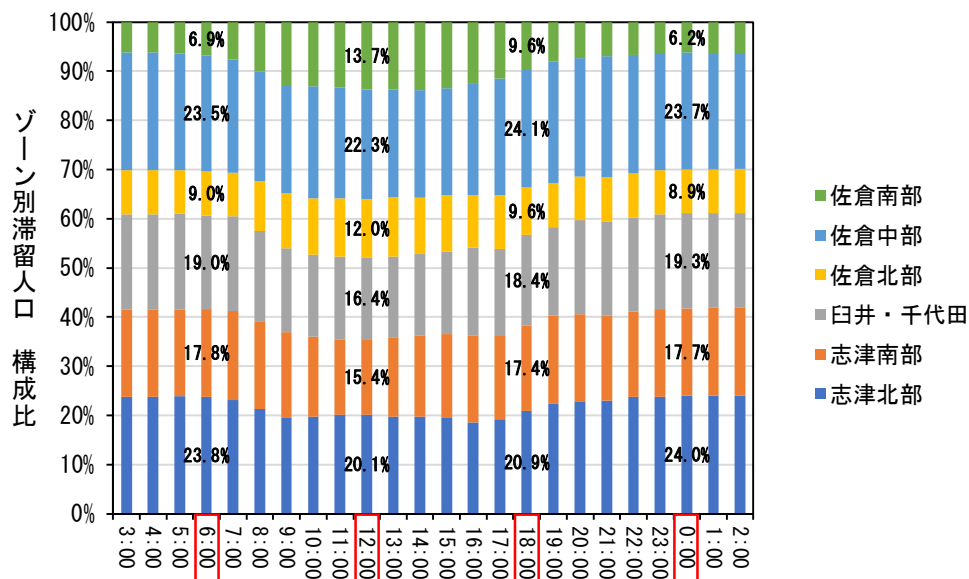
### <滞留人口>



### 小ゾーン区分図



### <構成比>



### C) 買物・食事・社交・娯楽目的の滞留人口

- 買物・食事等目的の滞留人口は、11時台がピークで約5,100人となっています。
- 11時台に着目してゾーン別にみると、志津北部が30.8%と最も高く、次いで臼井・千代田、佐倉中部の各ゾーンがそれぞれ約20.8%となっています。

#### <滞留人口>

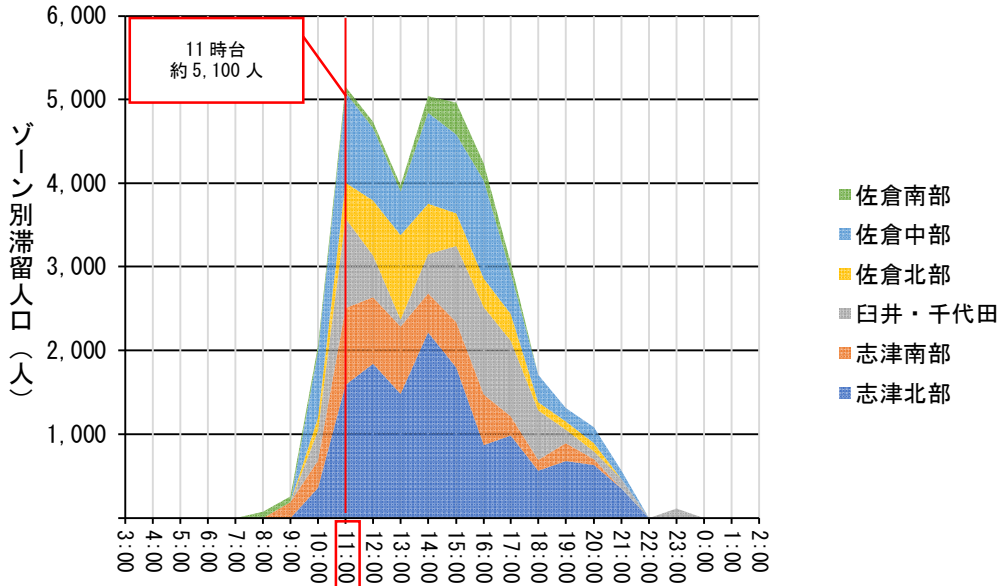


図 買物・食事・社交・娯楽目的の滞留人口

#### <構成比>

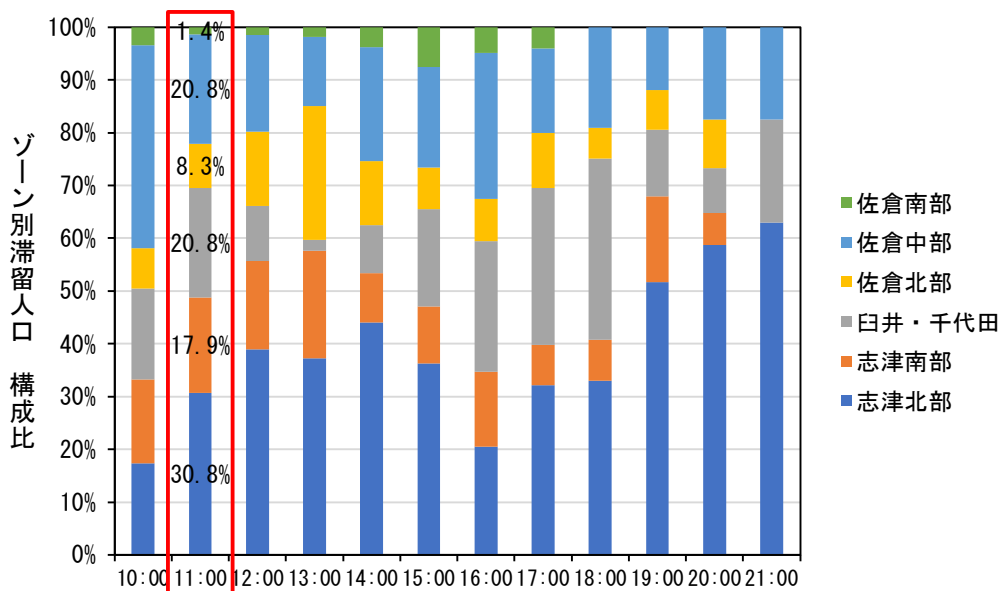


図 買物・食事・社交・娯楽目的の滞留人口 構成比 (滞留人口が500人以上の時間帯)

(出典：平成30年東京都市圏パーソントリップ調査)

#### D) 買物・食事・社交・娯楽目的の交通流動

- 買物・食事・社交・娯楽目的の交通流動は、佐倉北部と佐倉南部を除き各ゾーン内でのトリップが最も多くなっています。
- 志津北部、志津南部、臼井・千代田は市外へ向かうトリップが2,000超と、市外への流動量が多くなっています。
- 志津北部は、市外からのトリップも2,000超となっています。

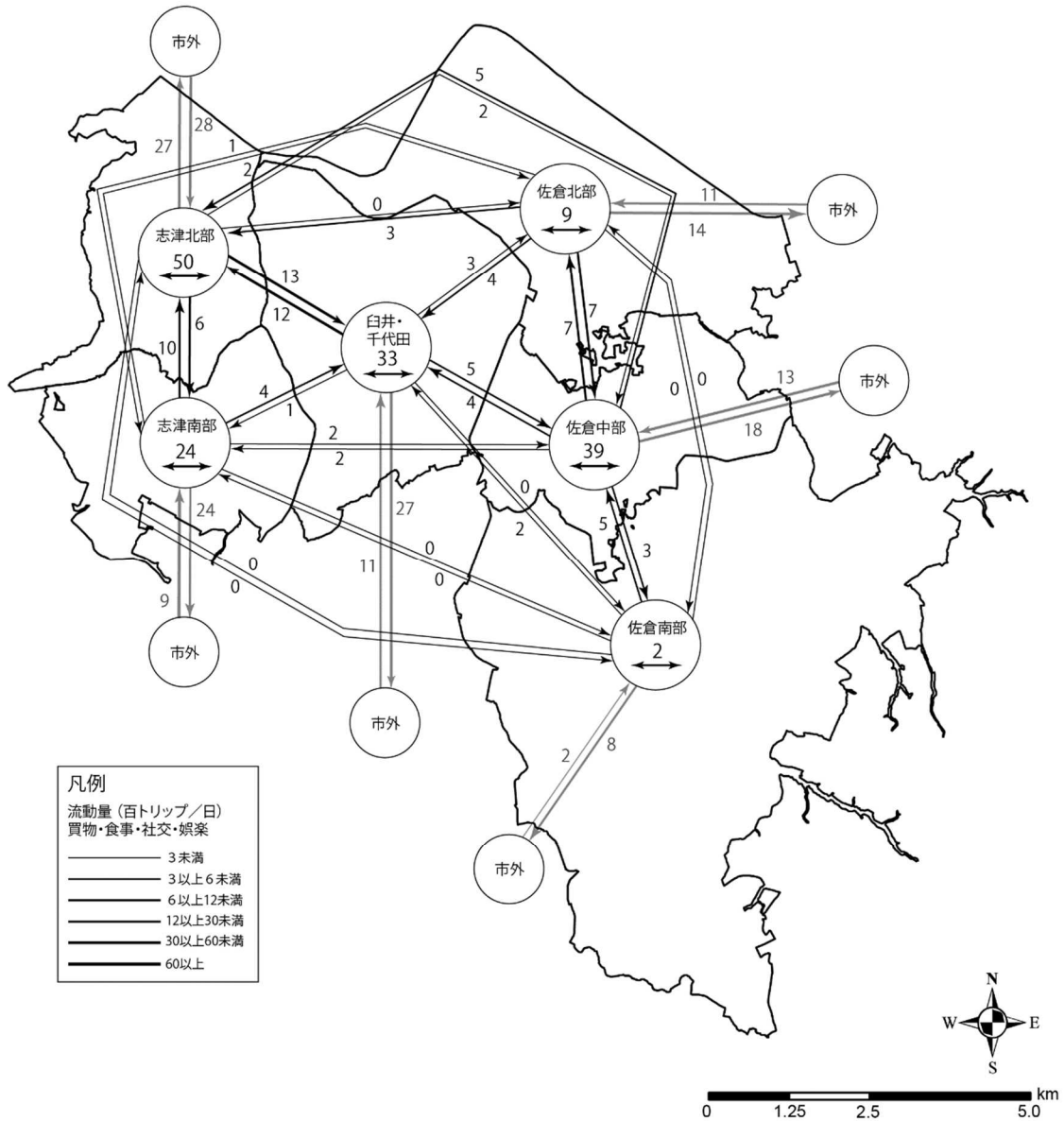


図 買物・食事・社交・娯楽目的の交通流動 (単位 百トリップ/日)

(出典：平成30年度東京都市圏パーソントリップ調査より作成)

E) 通院目的の滞留人口

- 通院目的の滞留人口は、11時台がピークで約2,400人となっています。
- 11時台に着目してゾーン別にみると、志津南部ゾーンが24.7%と最も高く、次いで臼井・千代田が21.3%、佐倉中部が19.8%、佐倉北部が7.0%、佐倉南部が7.7%、志津北部が19.4%となっています。

<滞留人口>

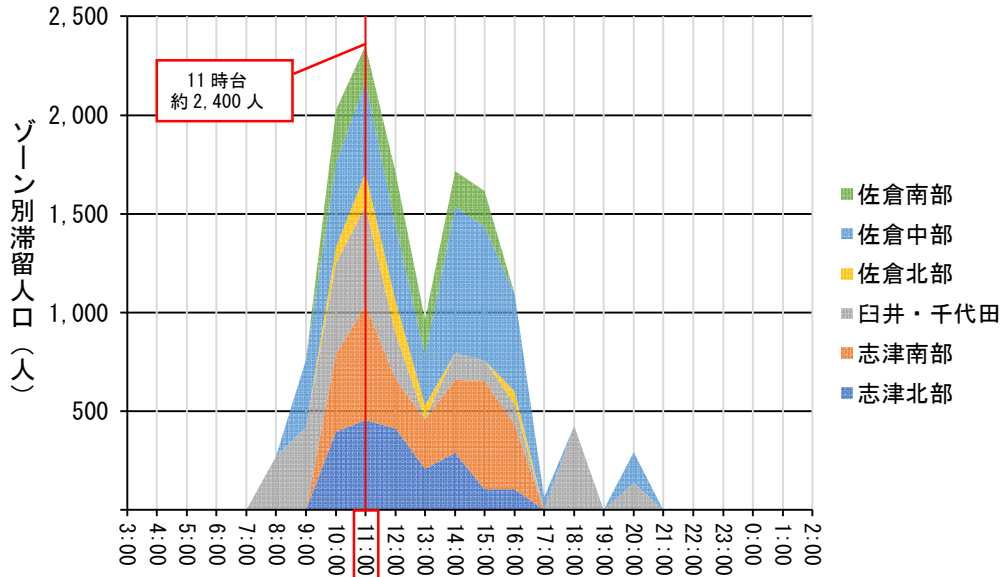


図 通院目的の滞留人口

<構成比>

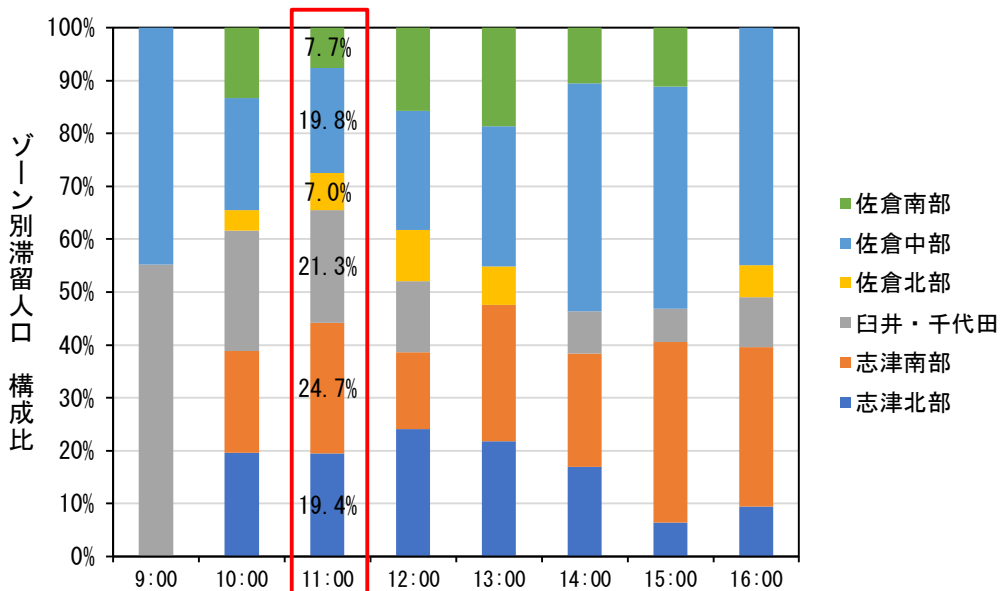


図 通院目的の滞留人口 構成比 (滞留人口が500人以上の時間帯)

(出典：平成30年度東京都市圏パーソントリップ調査)

### F) 通院目的の交通流動

- 通院目的の交通流動は、各ゾーン内でのトリップが多くなっています。
- 志津南部、佐倉中部は、市外からのトリップ数も多くなっています。

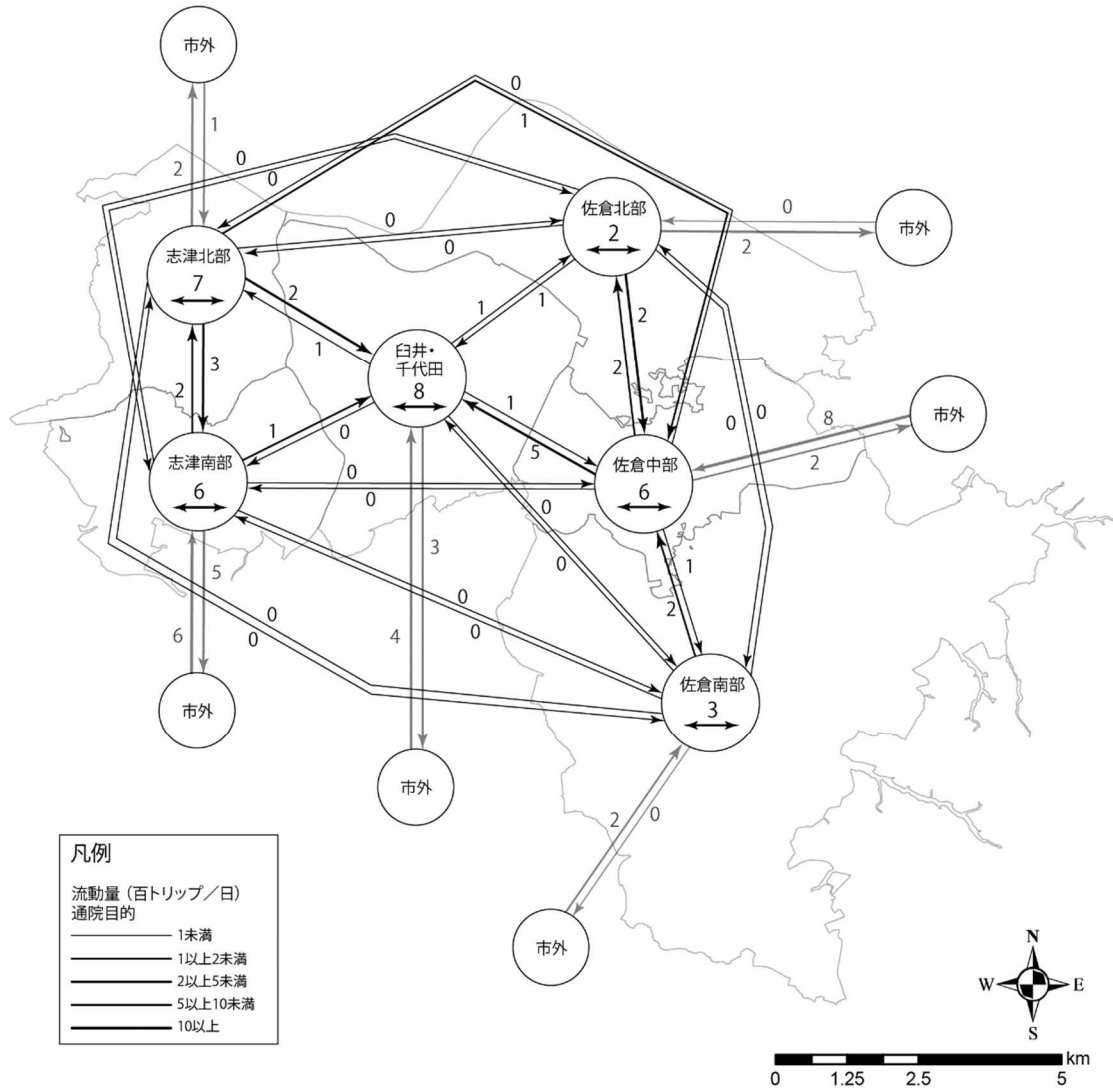


図 買物・通院目的の交通流動 (単位 百トリップ/日)

(出典：平成 30 年度東京都市圏パーソントリップ調査より作成)

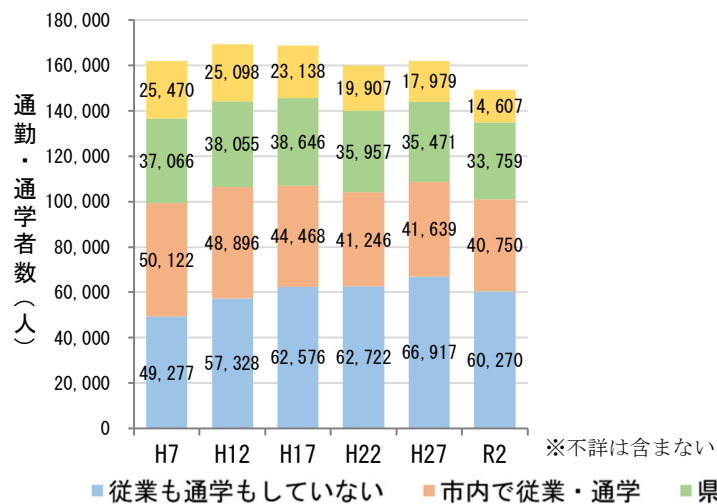


## (5) 通勤・通学流動の推移

### ①通勤先・通学先の構成

- 京成本線やJRが通る本市は、交通利便性が高いことから、市外への通勤・通学（県内他市、他県で従業・通学）が令和2年時点で約3割を占めていますが、平成7年以降、構成する割合はゆるやかに減少傾向にあります。

#### <通勤・通学者数>



#### <構成比>

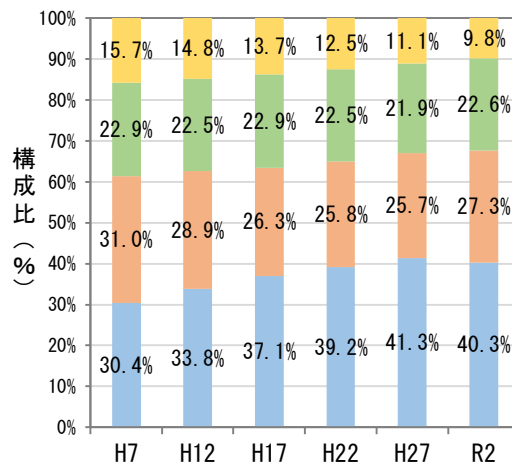


図 佐倉市民の通勤通学流動

(出典：国勢調査)

### ②通勤先・通学先別の移動手段

- 本市民は通勤・通学時に自動車が多く利用されており特に本市内、千葉市、八千代市、その他市町村（千葉市、八千代市、成田市、船橋市以外の市）へは約半数が自動車を利用しています。
- 県内他市への通勤・通学は、鉄道（鉄道と他手段の組み合わせを含む）を利用する割合が3～7割となっており、隣接する八千代市へは約3割と低い一方で、船橋市へは約7割となっています。

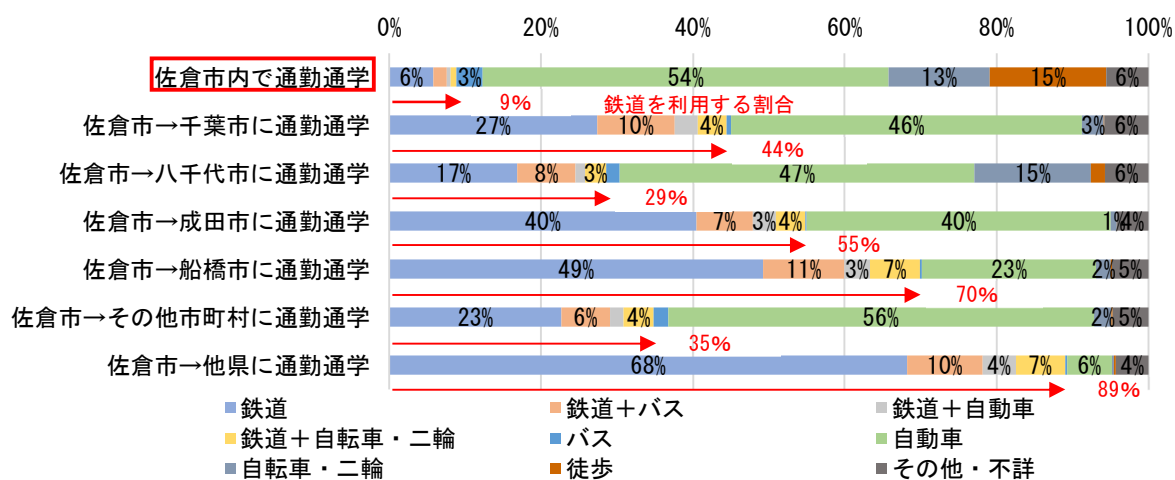


図 佐倉市民の通勤通学時の移動手段 (出典：令和2年国勢調査)

### ③市内に通勤・通学する人口の分布

- 市街化調整区域では、市内に通勤・通学する人口の割合が高い（50%以上）地域が分布しています。
- 志津地区、ユーカリが丘地区の住宅団地が位置する地域では、市内に通勤・通学する人口が30%未満となっています。

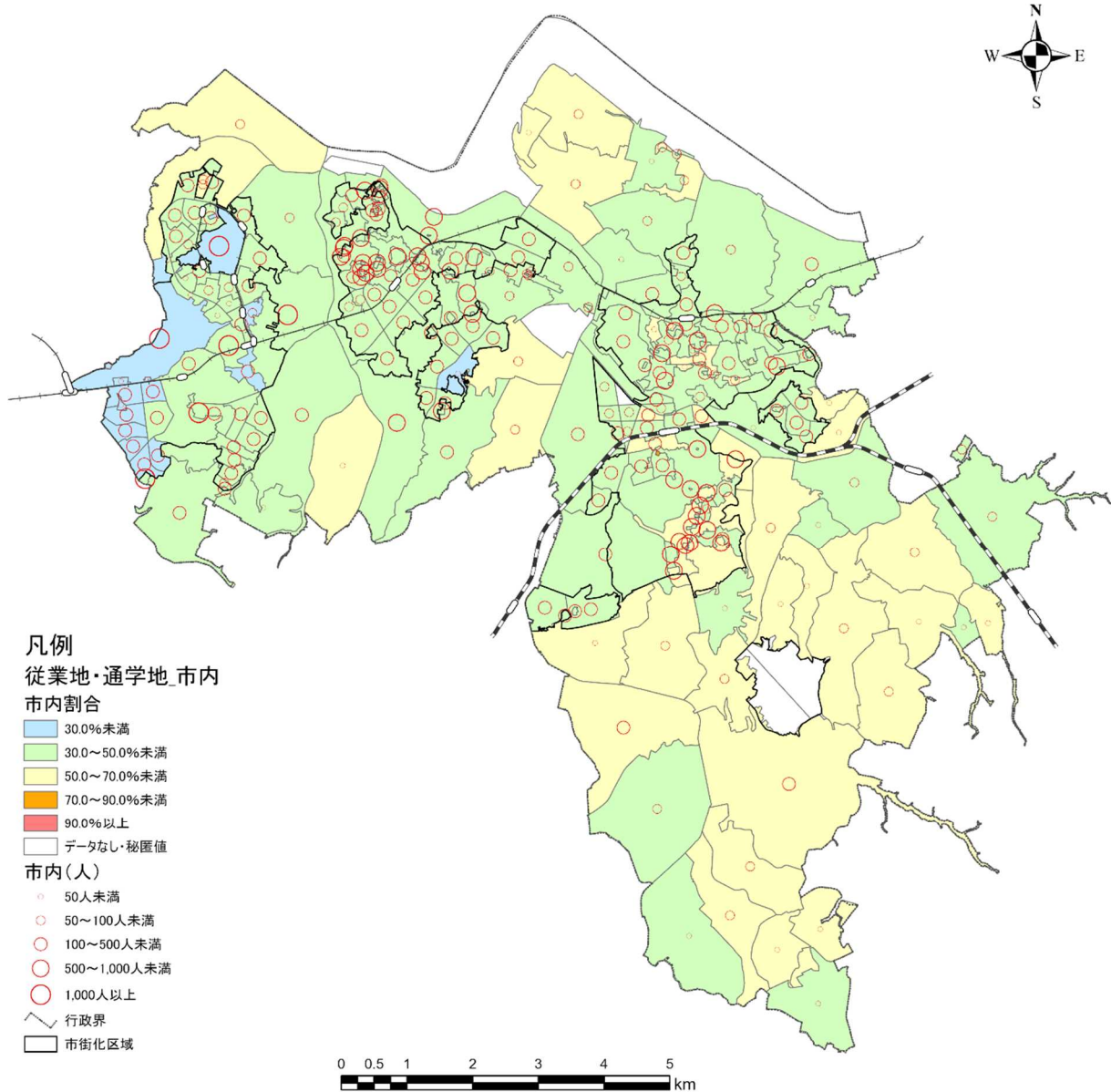


図 市内に通勤・通学する人口の分布

(出典：令和2年国勢調査)

#### ④市外に通勤・通学する人口の分布

- 佐倉地区、志津地区、臼井地区において、市外に通勤・通学する人口の割合が高い（50%以上）地域が分布しています。
- 志津地区やJR佐倉駅周辺、千代田地区の一部では、市外に通勤・通学する人口が70%以上となっています。

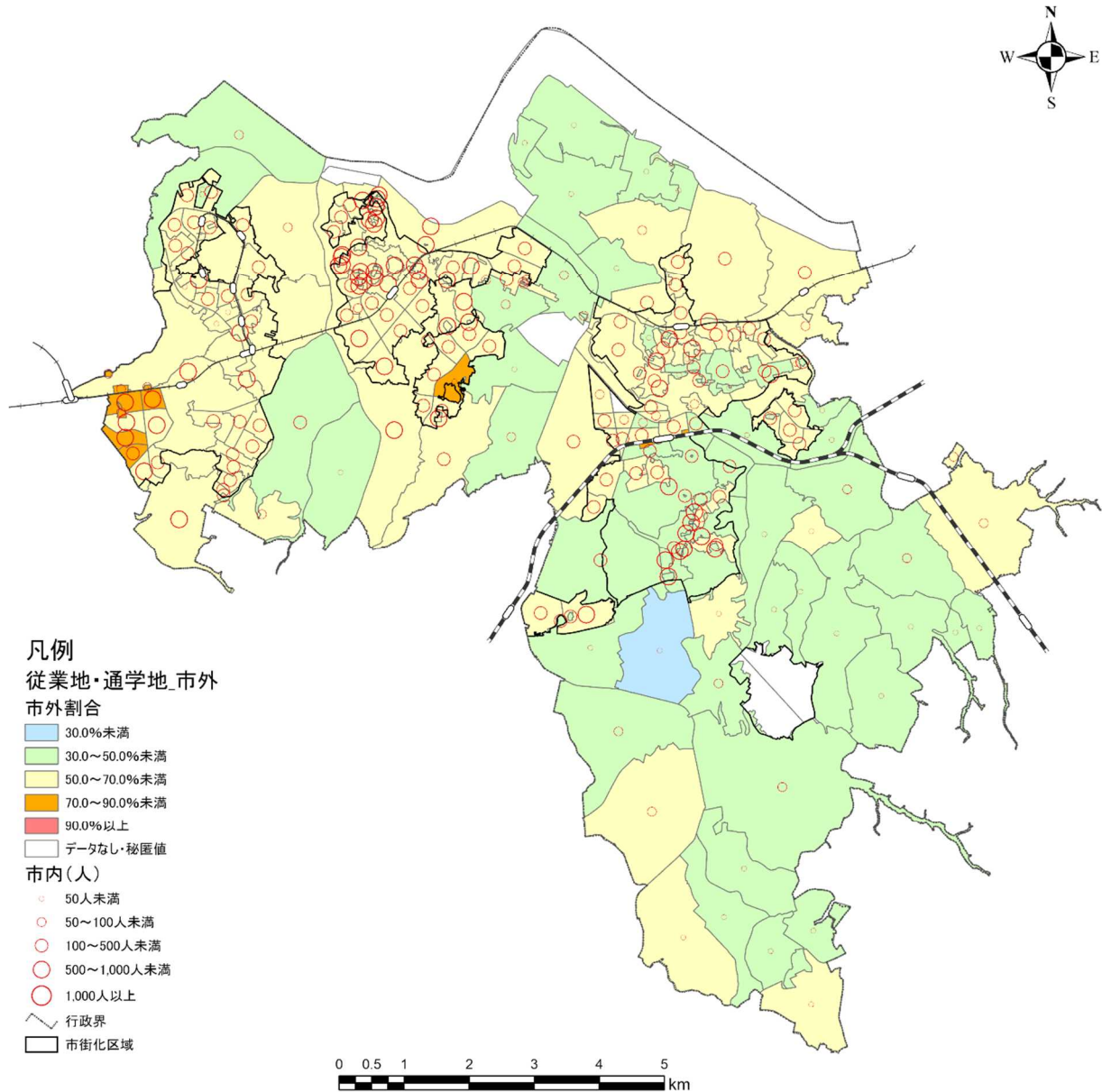


図 市外に通勤・通学する人口の分布

(出典：令和2年国勢調査)

### ⑤通勤・通学時に鉄道を利用する人口の分布

- 市北部の市街化区域内を中心に、通勤・通学時に鉄道を利用する割合が高い地域が分布しています。
- 志津地区や京成臼井駅、京成佐倉駅北口、千代田地区の住宅団地が位置する地域では、鉄道利用者が50%以上となっています。

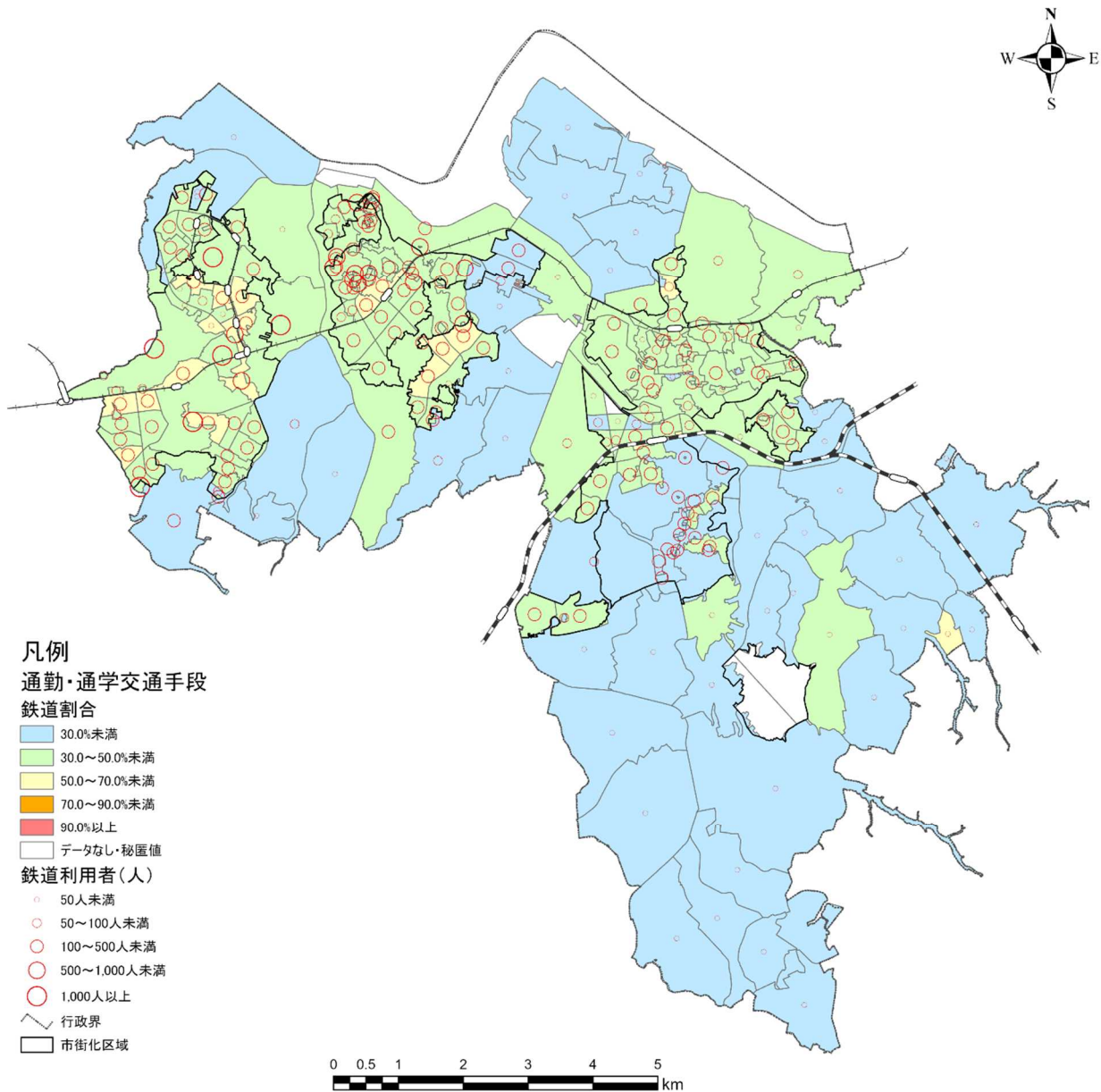


図 通勤・通学時に鉄道を利用する人口の分布

(出典：令和2年国勢調査)

### ⑥通勤・通学目的の交通流動

- 本市の通勤・通学目的の交通流動は、市内の各ゾーンから市外へ流出するトリップが多く、特に、志津北部、佐倉中部は市外へ向かうトリップが10,000トリップ/日を超えています。
- 市外から本市内の各ゾーンへ向かうトリップは、佐倉中部、佐倉南部に集まるトリップ数が多く、6,000トリップ/日を超えています。

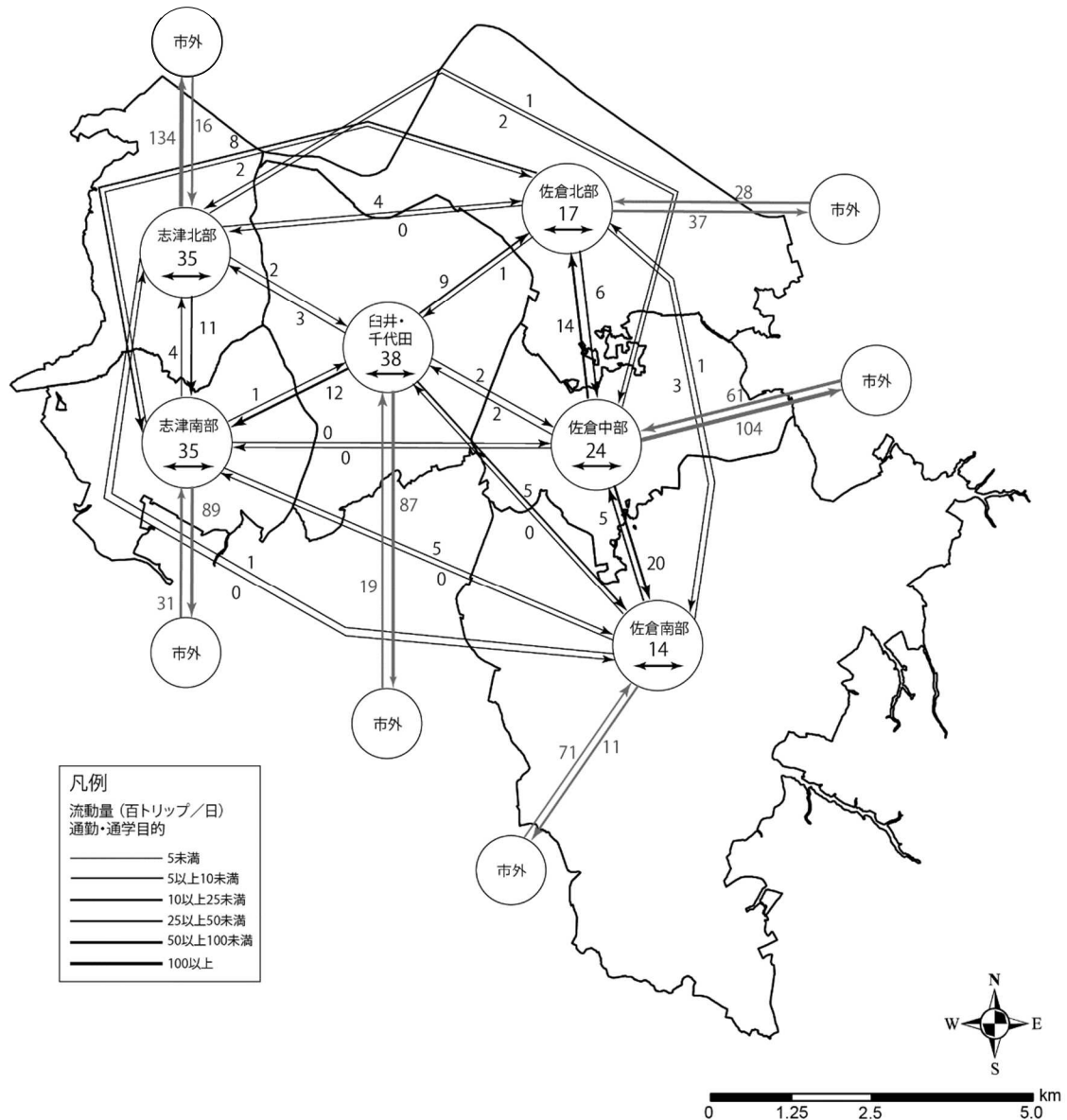


図 通勤・通学目的の交通流動(単位 百トリップ/日)

(出典:平成30年度東京都市圏パーソントリップ調査)

## 2-2. 土地構造・土地利用

### (1) 用途地域の指定状況

- 本市の全域が都市計画区域となっており、市街化区域が約 2,424ha (23.4%)、市街化調整区域が約 7,935ha (76.6%) となっています。
- 市街化区域のうち、住居系用途地域が約 8 割を占めており、商業系用途地域は主に鉄道駅周辺に定められています。
- 工業系用途地域は、主に根郷地区に定められています。

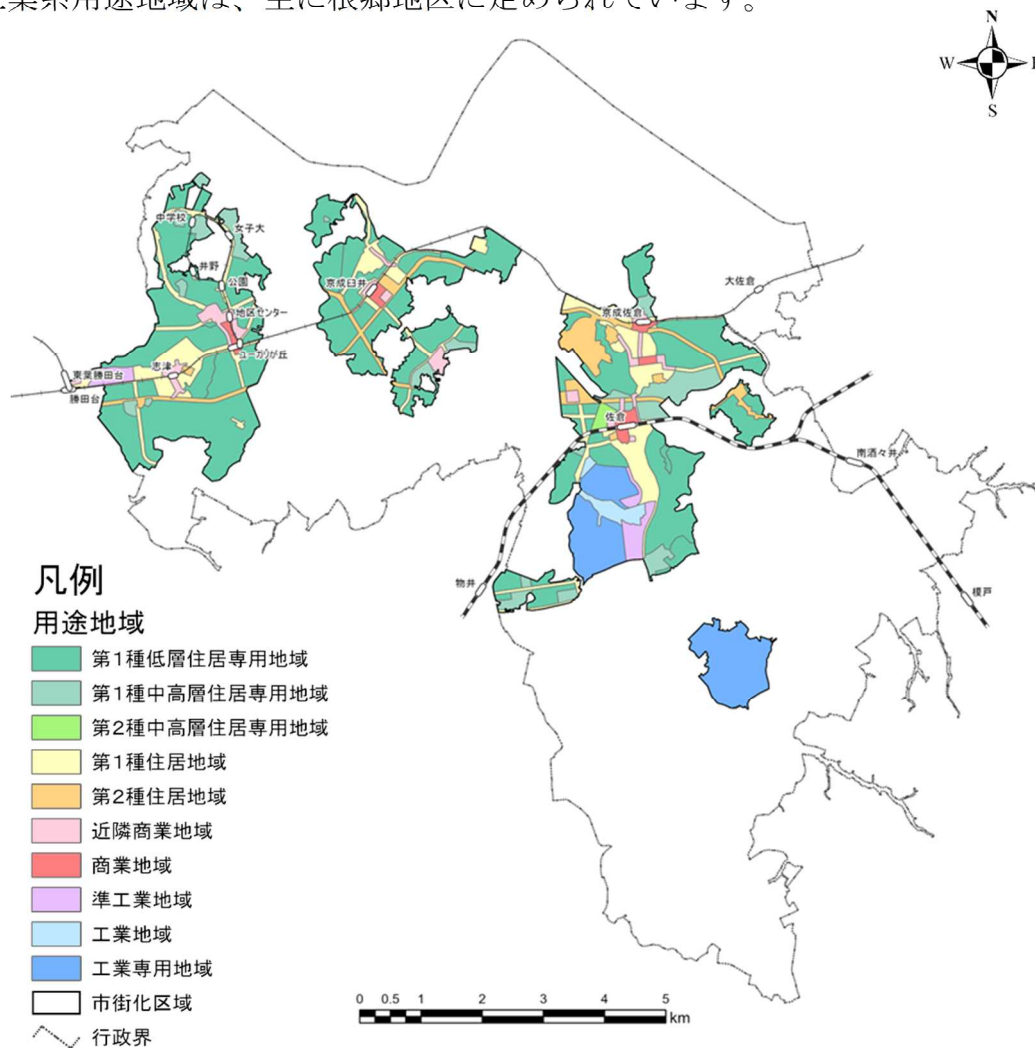


図 用途地域等の決定状況と内訳 (出典：佐倉市都市計画決定 GIS)

表 用途地域の内訳

都市計画 区域面積	市街化区 域	用途地域内訳			市街化 調整区域
		住居系	商業系	工業系	
		約 2,424ha (23.4%)	約 1,990ha (82.1%)	約 107ha (4.4%)	

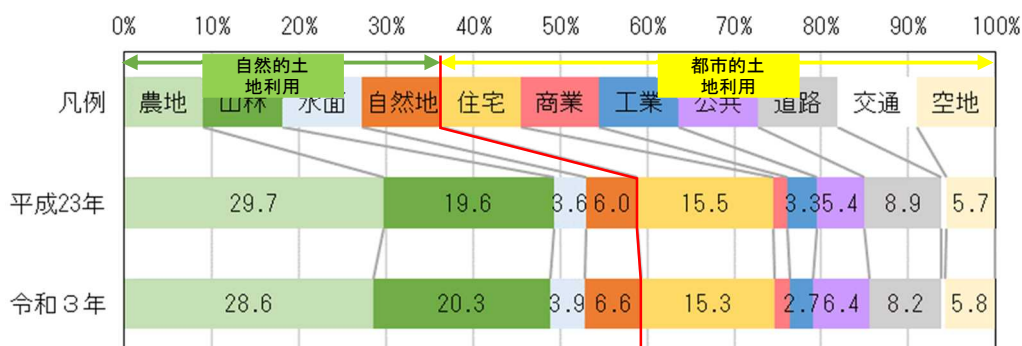
(出典：佐倉市の都市計画決定一覧表 (H31.4))

## (2) 土地利用現況

### ①市域全体の土地利用現況

- 市域面積のうち、約6割が農地・山林を中心とする自然的土地利用で占められています。

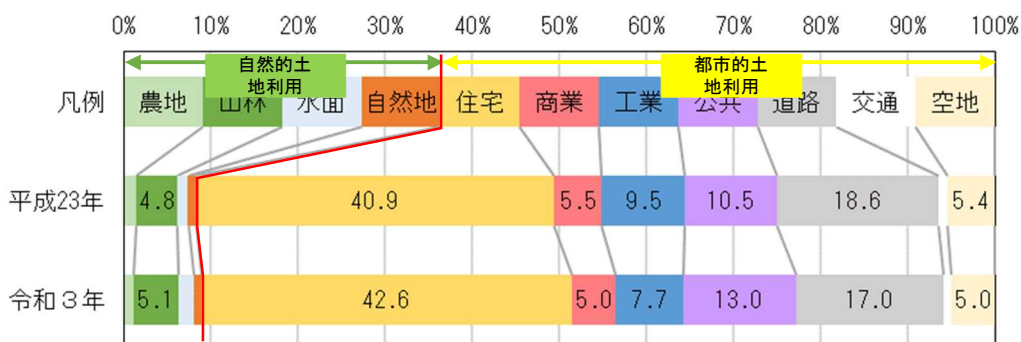
図 市域全体の土地利用構成



### ②市街化区域の土地利用現況

- 市街化区域の約9割が都市的土地利用で占められており、住宅が全体の約4割と最も高い割合を占めています。

図 市街化区域の土地利用構成



### ③市街化調整区域の土地利用現況

- 市街化調整区域の7割強が自然的土地利用で占められています。都市的土地利用は3割弱で、住宅は全体の約7%となっています。

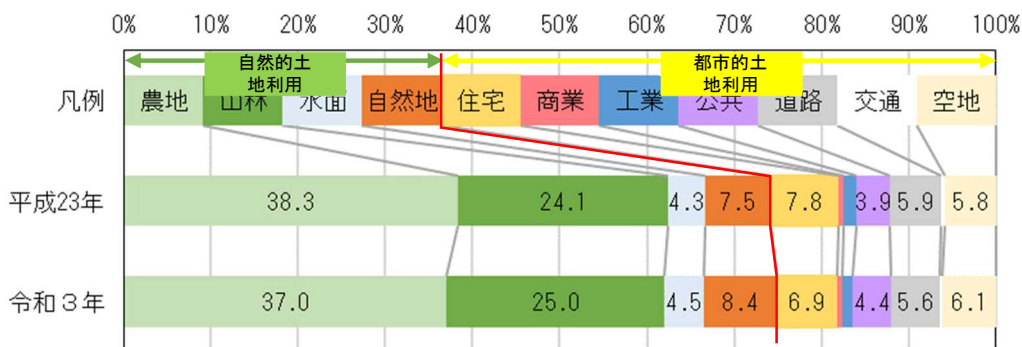


図 市街化調整区域の土地利用構成 (出典：令和3年都市計画基礎調査)

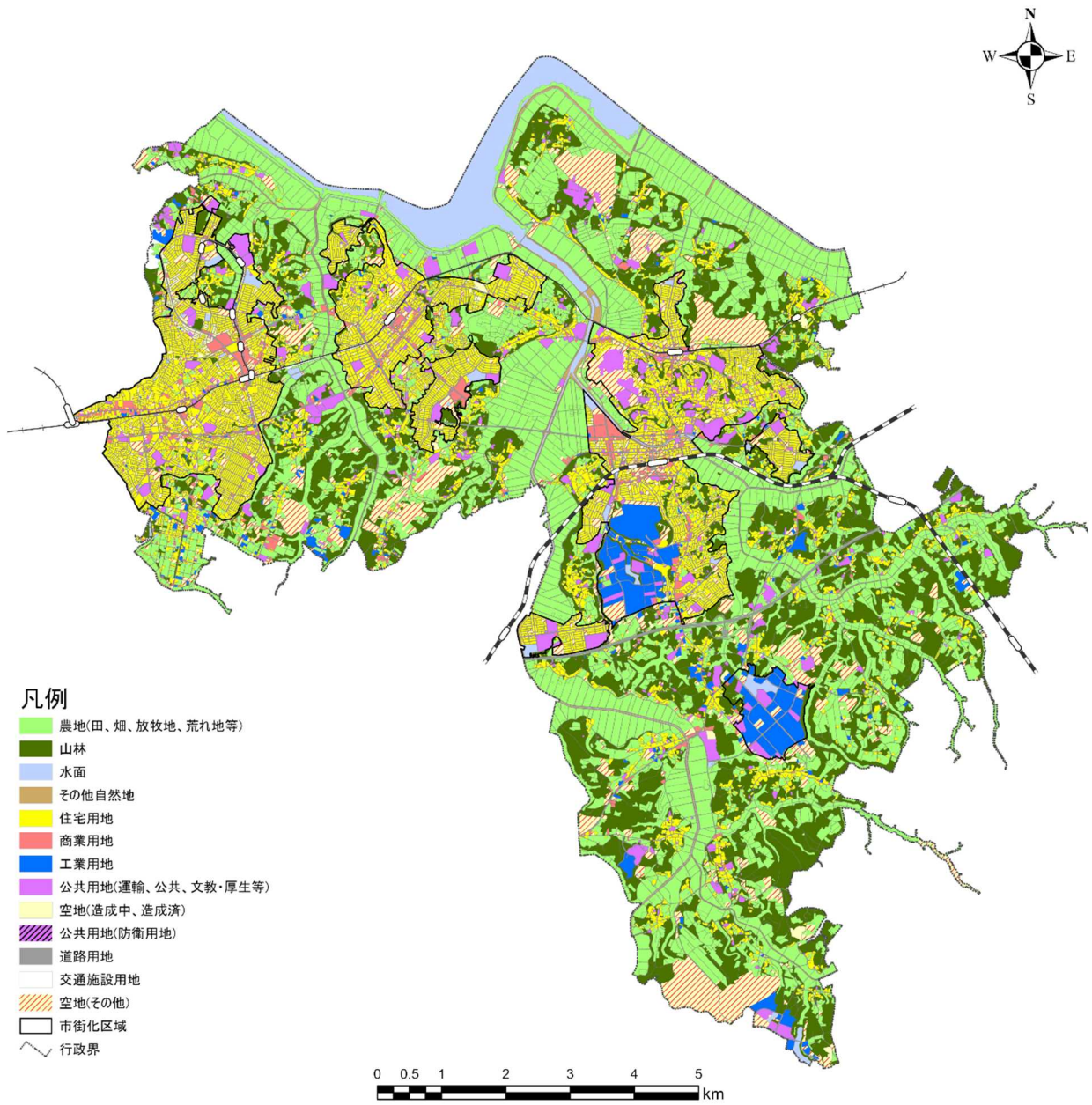


図 市全域の土地利用現況

(出典：令和3年都市計画基礎調査)



### (3) 市街地開発事業等（土地区画整理事業、開発行為（5ha以上））

○ 市街化区域のうち約58%（約1,409ha）が、計画的な市街地開発事業等により整備され、良好な居住環境を有する住宅地が広がっています。

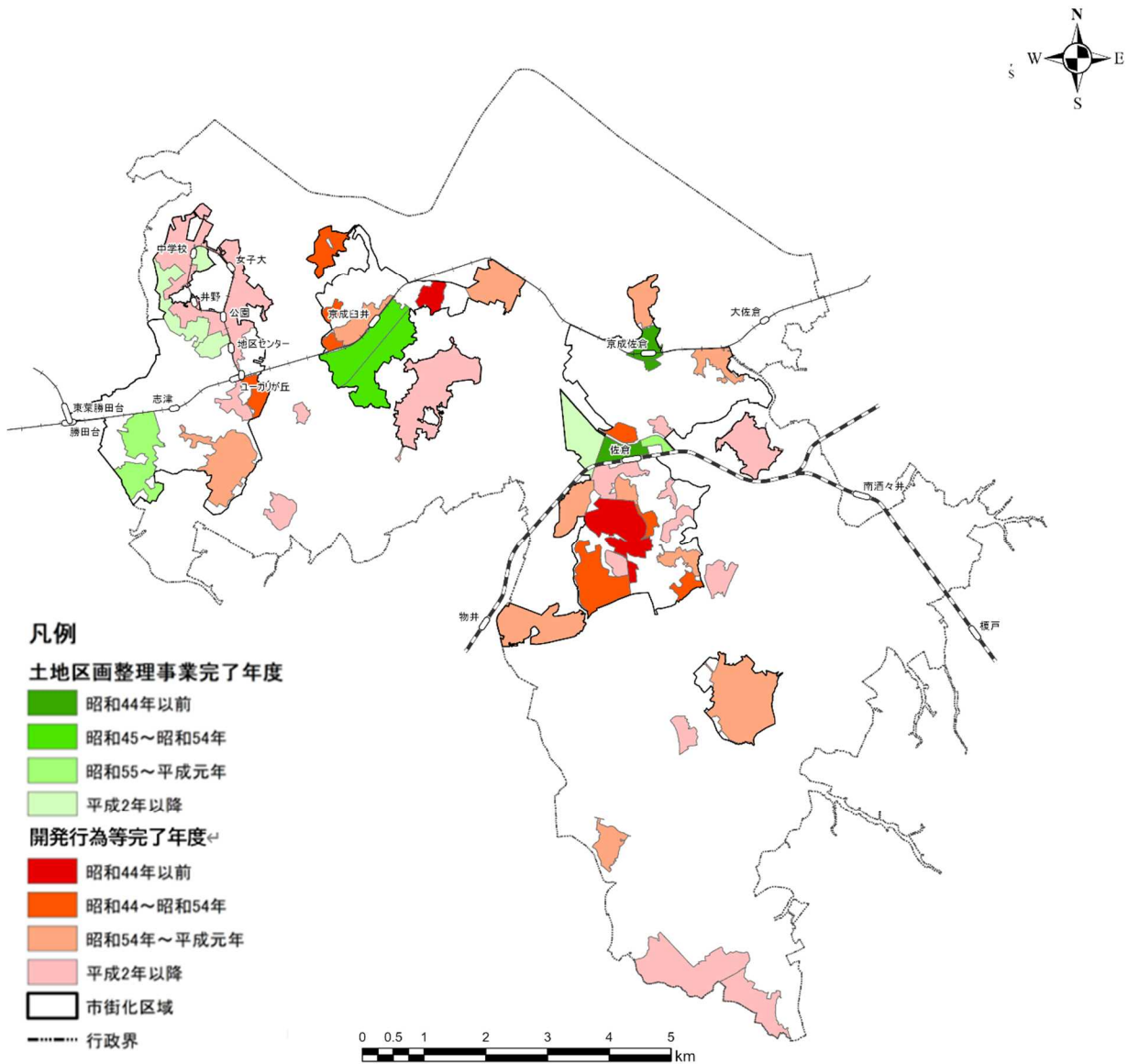


図 土地区画整理事業・開発行為等（5ha以上）

（出典：令和3年都市計画基礎調査）

#### (4) 建築動向

- 本市内の建築確認申請の件数は、平成 18 年の 1,107 件をピークに減少傾向にあり、令和 3 年は 450 件となっています。
- 区域区分・用途別の内訳を割合で見ると、市街化区域内の住居系（住宅、店舗併用住宅、共同住宅）の割合が、平成 22 年以降増加し、平成 30 年には減少傾向に転じ、令和 3 年は約 81%を占めています。
- 市街化調整区域では、平成 21 年に都市計画法第 34 条第 11 号による区域指定制度を廃止したことから、平成 22 年以降は住居系の建築確認済証交付件数は大きく減少し、平成 29 年以降は約 50 件で推移しています。

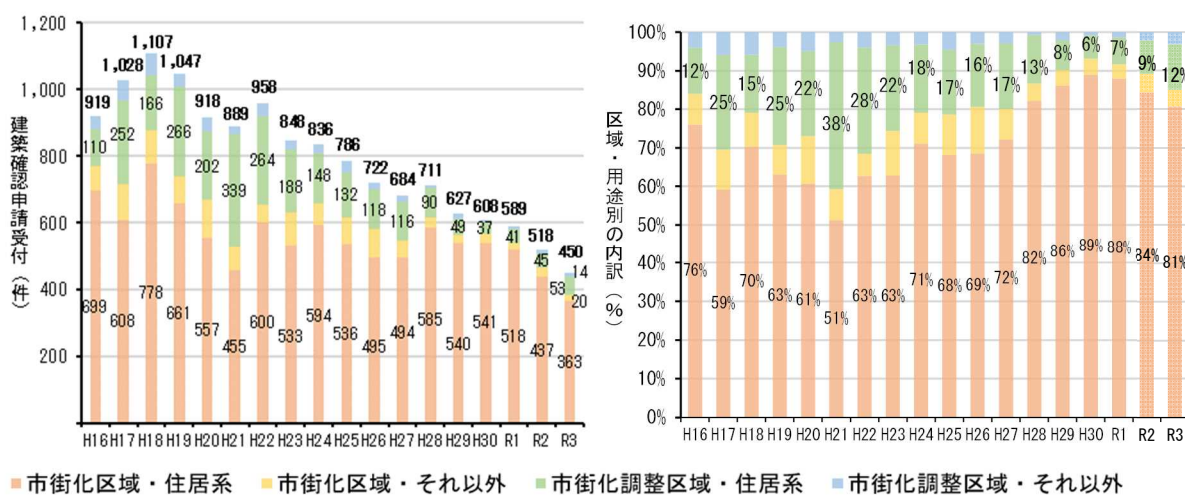


図 建築確認済証交付件数の推移

(出典：佐倉市資料より作成)

#### (5) 空き家の推移

- 本市の空き家率は平成 10 年以降減少傾向にあります。また平成 30 年で空き家は 7.1 千棟、空き家率は 9.3%であり、千葉県全体の空き家率と比べて低くなっています。

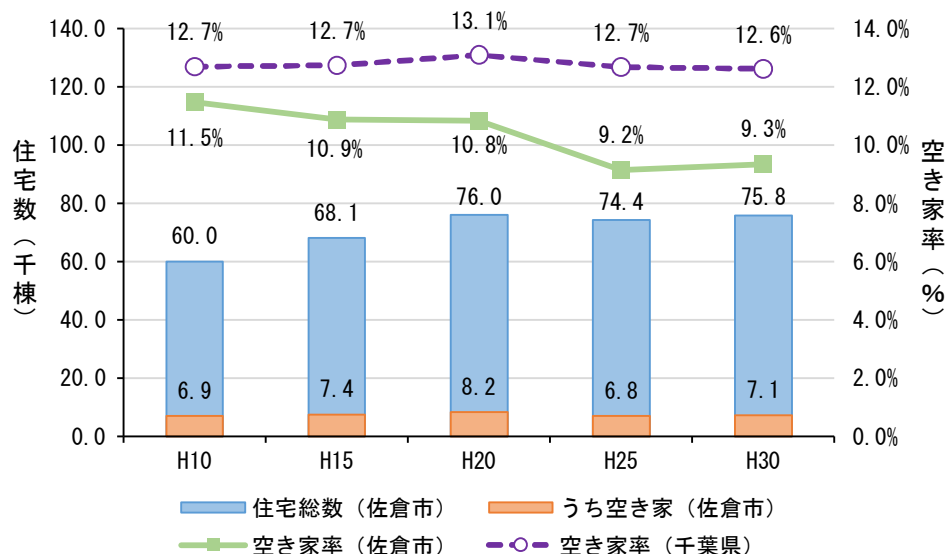


図 空き家の推移 (出典：住宅・土地統計調査)

## 2-3. 都市構造（生活サービス機能などの配置状況）

### （1）目的と対象施設

- 生活サービス機能などの分布特性を把握し、都市機能誘導区域・誘導施設の設定の基礎資料とするため、現在の配置状況を整理します。

表 対象施設

No	類型	対象施設	出典
1	行政窓口	市庁舎、出張所、市民サービスセンター、派出所、保健センター、その他（国・県の施設）	市資料
2	公民館・コミュニティセンターなど	公民館、コミュニティセンター、佐倉市ヤングプラザ、青少年センター、佐倉市農村婦人の会など	市資料
3	医療施設	病院・診療所 （内科、外科、小児科、歯科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科）	市資料
4	福祉施設	障害者就労施設	市資料
5	高齢者福祉施設	通所型施設、地域包括支援センター	市資料
6	教育施設	幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学、短大、専門学校	市資料
7	子育て支援施設	保育園・認定こども園・小規模保育事業	市資料
		学童保育	
		子育て支援支援センター	
		児童センター・労幼の館	
8	文化施設	図書館、図書館分館、図書室	市資料
		その他文化施設（市民音楽ホール、佐倉市立美術館、国立歴史民俗博物館など）	
9	商業施設	大規模商業施設、小規模商業施設	大規模小売店総覧 2022 iタウンページ
		コンビニエンスストア	iタウンページ
		銀行等、郵便局、簡易郵便局	市資料、iタウンページ

## (2) 目的類型ごとの配置状況

### ①行政窓口（市庁舎、出張所、市民サービスセンター、派出所、保健センターなど）

- 行政窓口は、主に市街化区域内の主要駅 800m圏内に立地しており、市街化調整区域では、地区の広がりやを考慮して出張所や派出所、保健センターが立地しています。

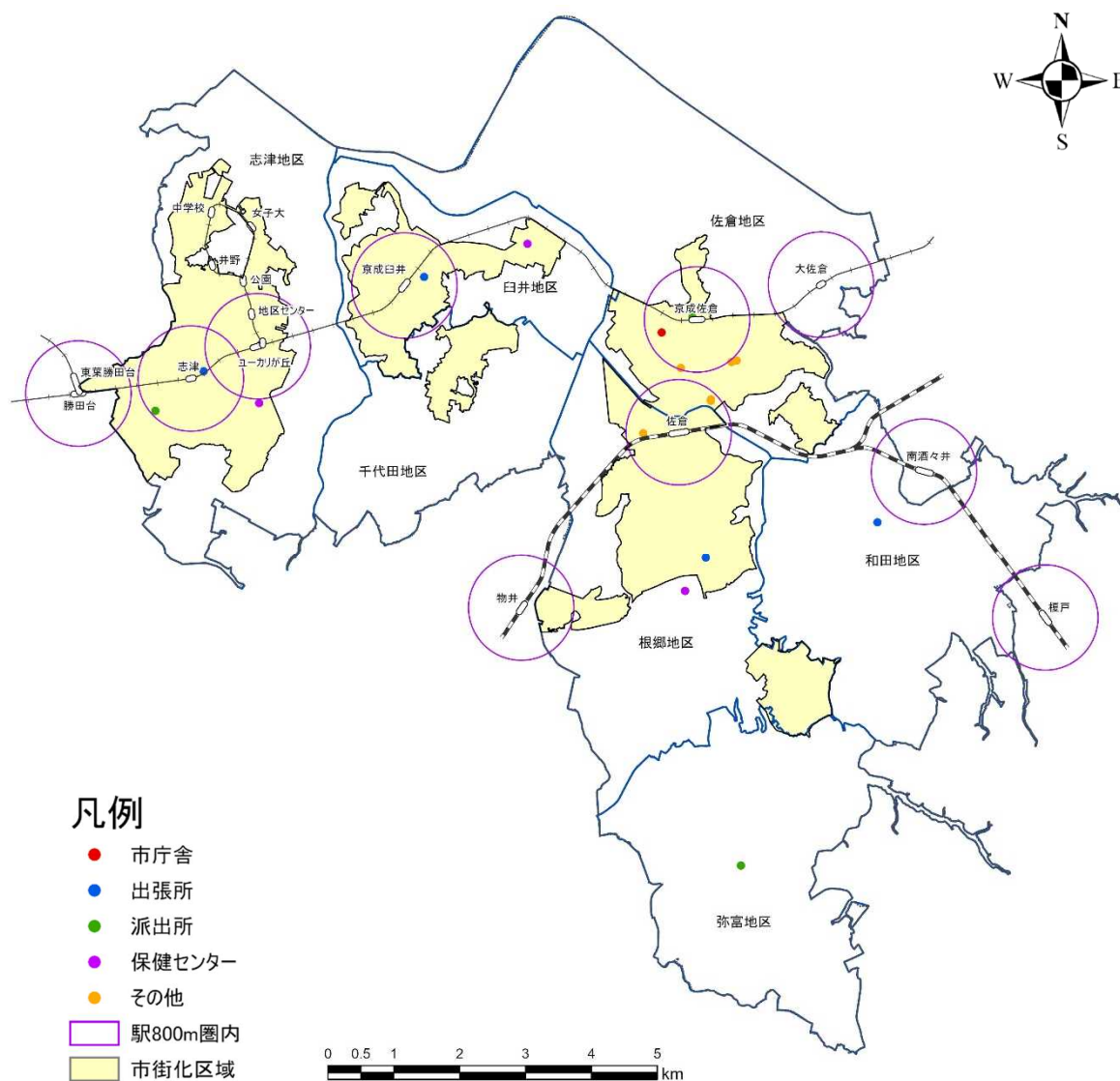


図 行政窓口の位置

## ②公民館・コミュニティセンターなど

(公民館、コミュニティセンター、佐倉市ヤングプラザ、青少年センター、佐倉市農村婦人の家など)

- 公民館・コミュニティセンターなどは、市全体に点在しており、駅 800m圏内に施設が立地している駅は、京成佐倉駅、京成臼井駅、志津駅となっています。

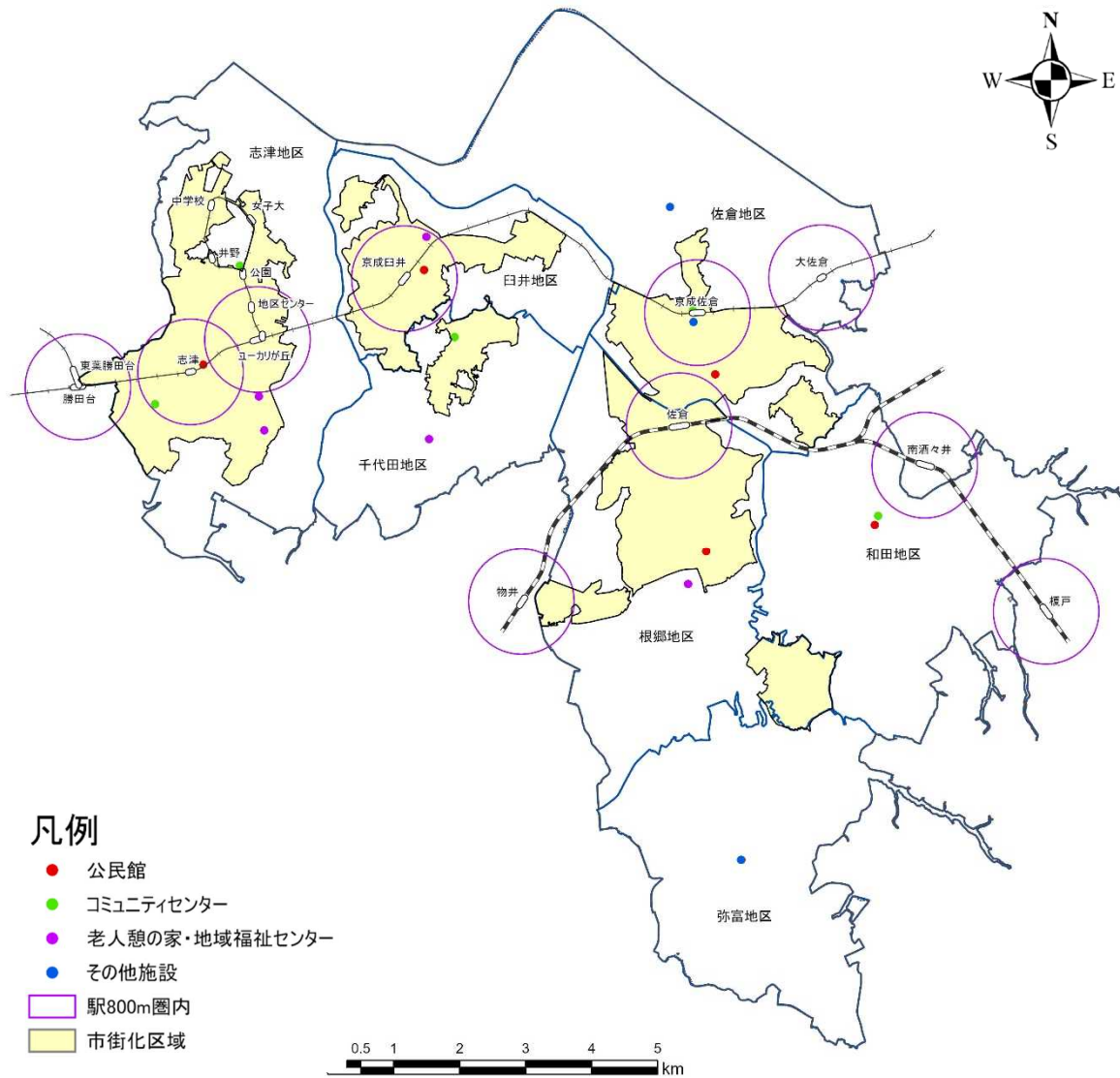


図 公民館・コミュニティセンターなどの位置

### ③医療施設（病院、診療所）

（内科、外科、小児科、歯科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科）

- 病床数が20床以上有する病院は市内に6か所存在し、主に市北部に分布しています。  
また、鉄道駅から800m圏内に立地する病院は佐倉中央病院のみとなっています。
- 診療所の多くが市街化区域に立地しており、駅800m圏内に集積しています。

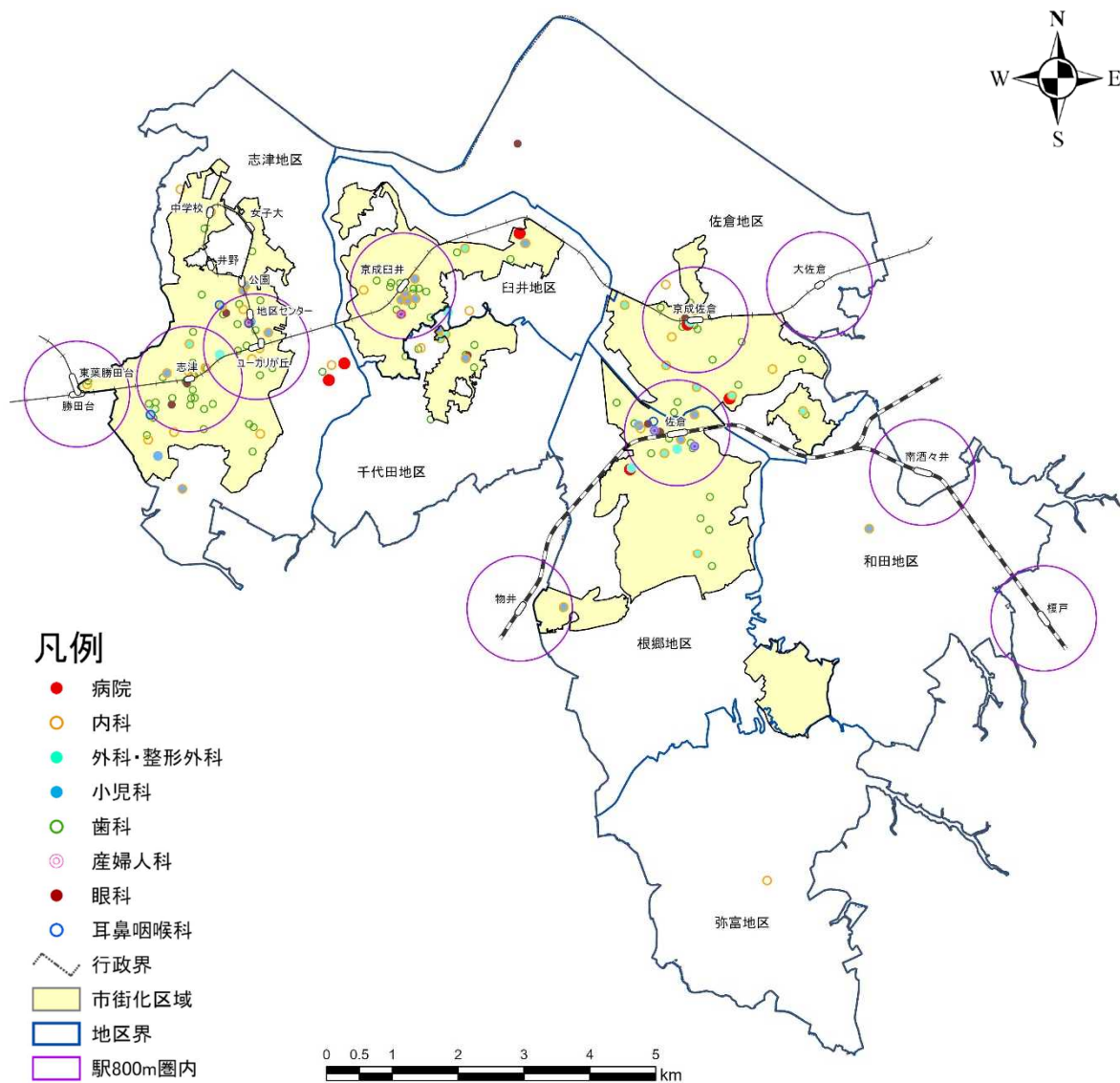


図 医療施設の位置

#### ④福祉施設（障害者就労施設）

- 障害者就労施設は、市街化区域を中心に広く分布しており、約半数が駅 800m圏内に立地しています。

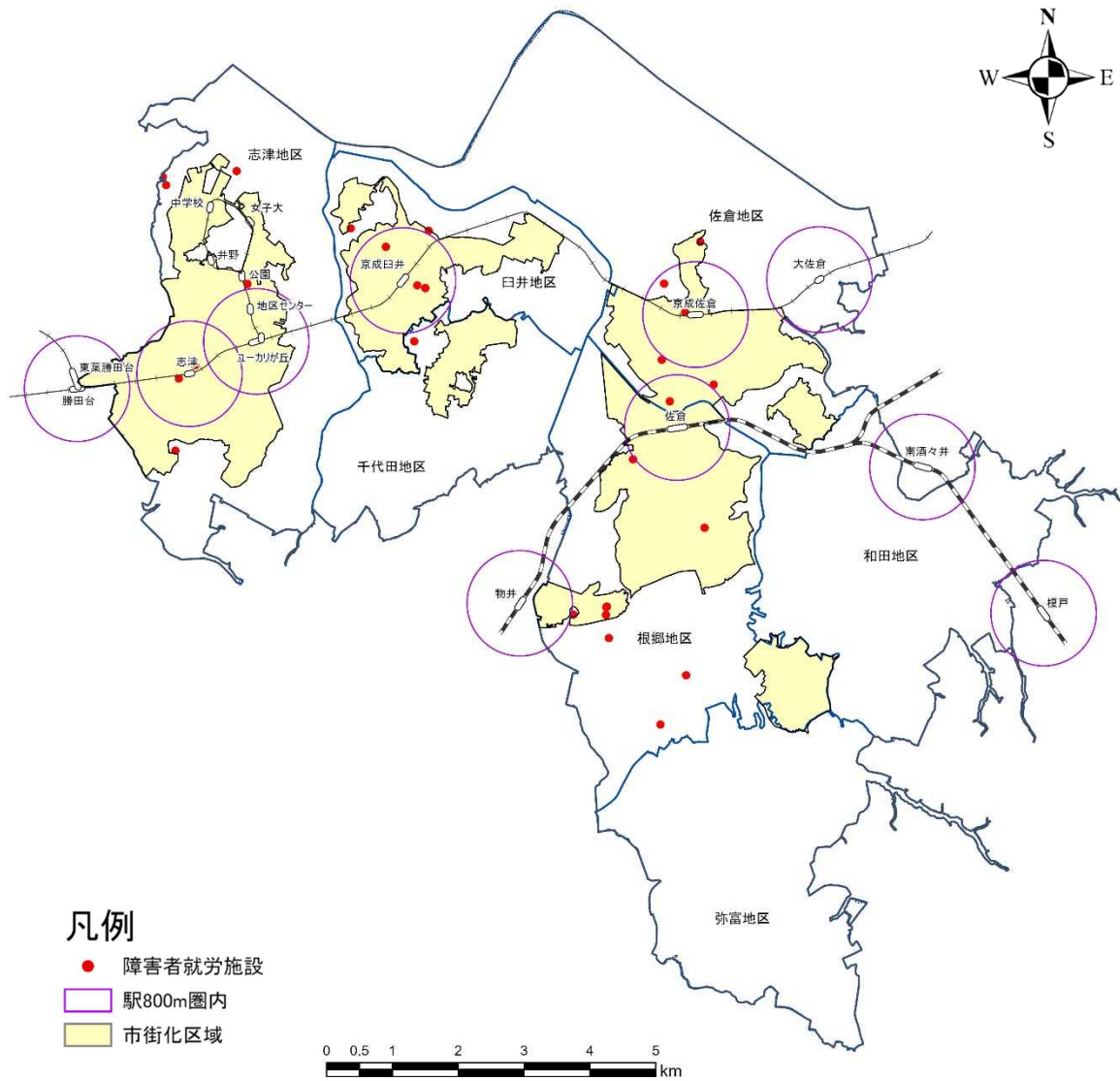


図 福祉施設（障害者就労施設）の位置

本計画では「生活介護」、「就労施設 A」、「就労施設 B」の中で賃金が発生する施設を障害者就労施設として定義

### ⑤高齢者福祉施設（通所型施設）

- 高齢者福祉施設（通所型施設）は、市街化区域を中心に広く分布しており、特に志津駅、ユーカリが丘駅、京成臼井駅、J R佐倉駅の 800m圏内に施設が集積しています。

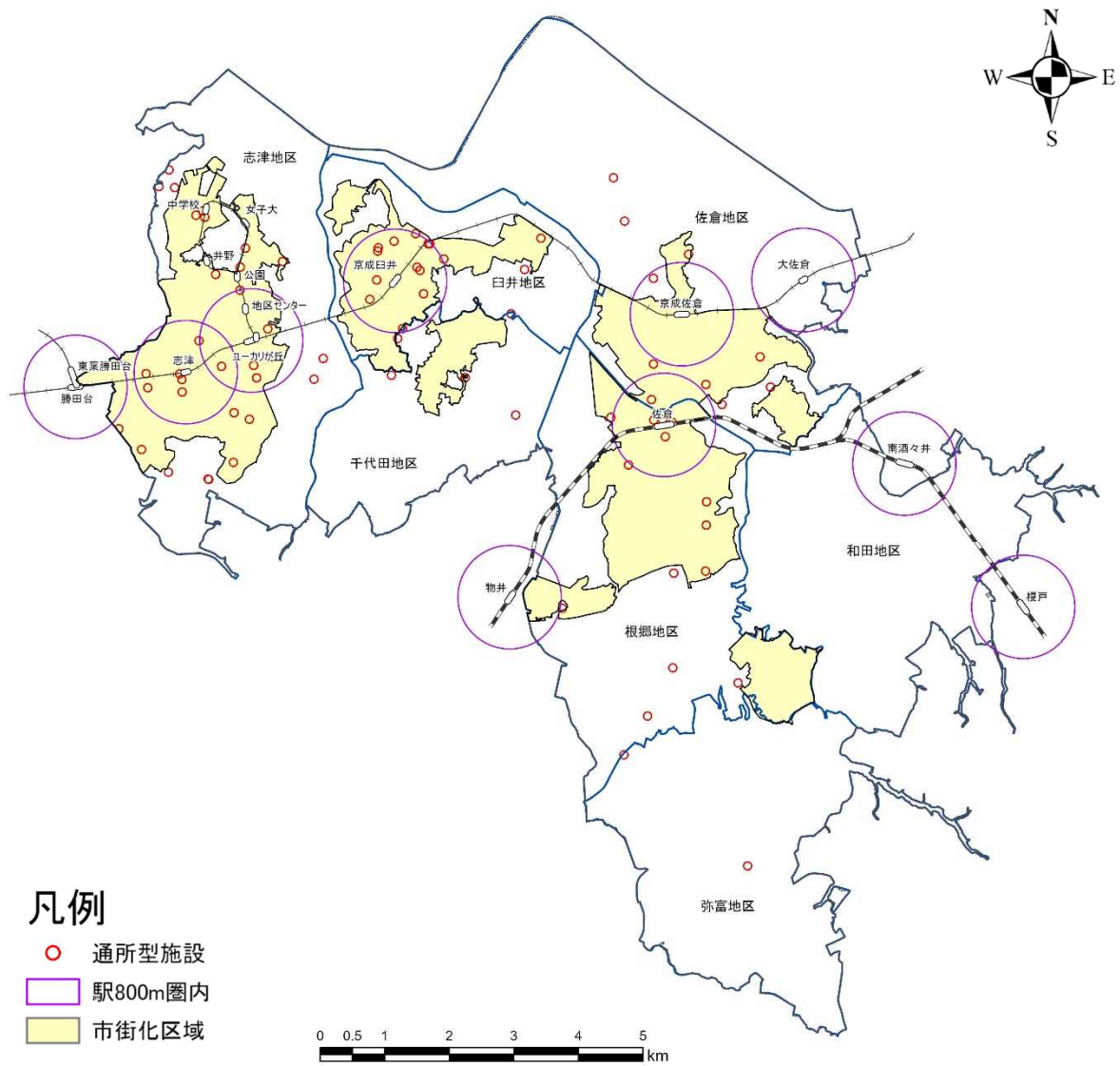


図 高齢者福祉施設（通所型施設）の位置



### ⑥高齢者福祉施設（地域包括支援センター）

- 地域包括支援センターは、「佐倉市高齢者・介護計画」に定める日常生活圏域ごと（市内5か所）に設置されており、駅800m圏内には3か所あります。

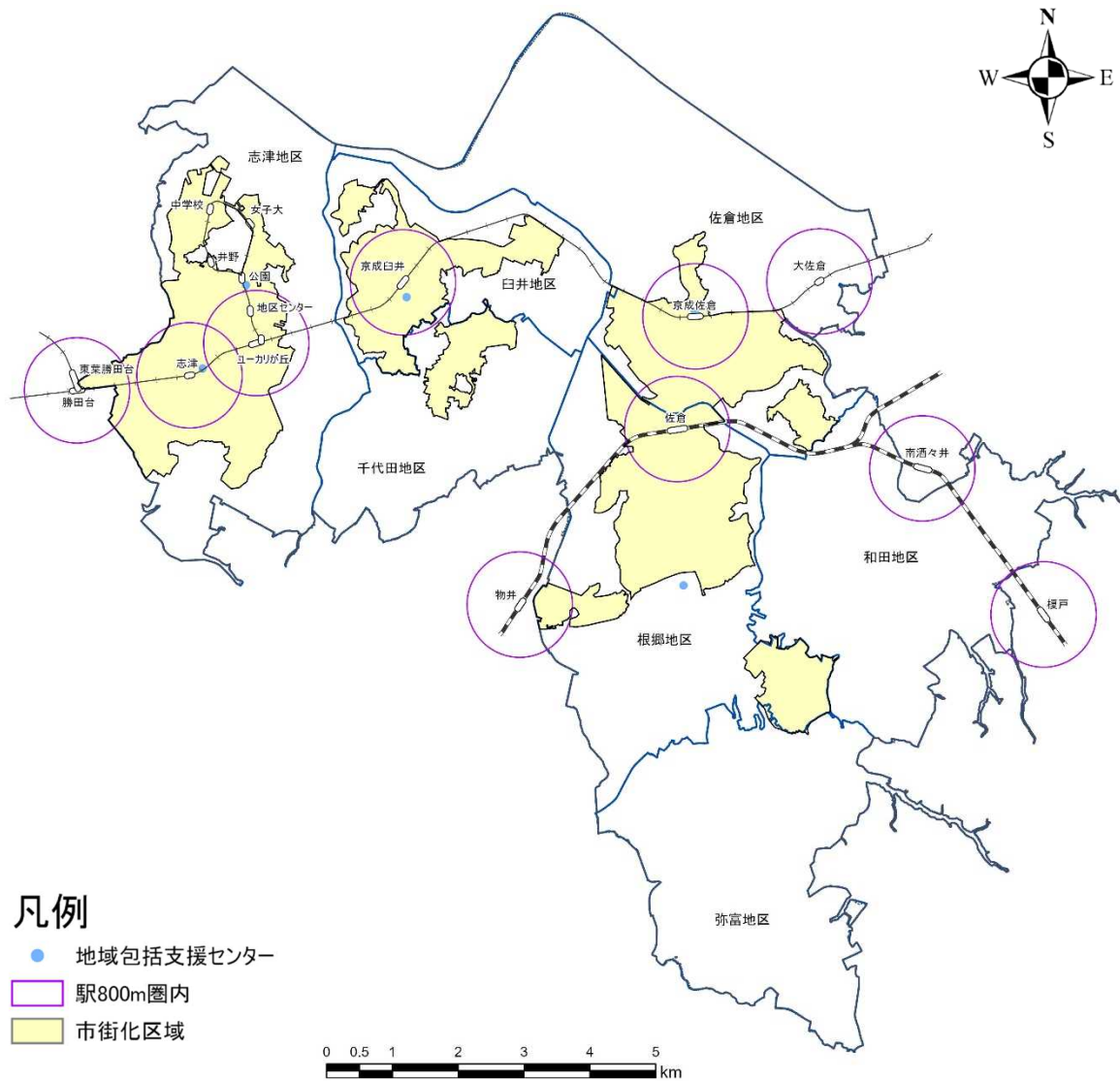


図 高齢者福祉施設（地域包括センター）の位置

⑦教育施設（幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学、短大、専門学校）

- 幼稚園、小学校は、市街化区域を中心に広く分布しており、中学校は市街化区域や市街化調整区域との境界部に立地しています。
- 高等学校、大学、短期大学、専門学校は、市内に7施設立地しています。

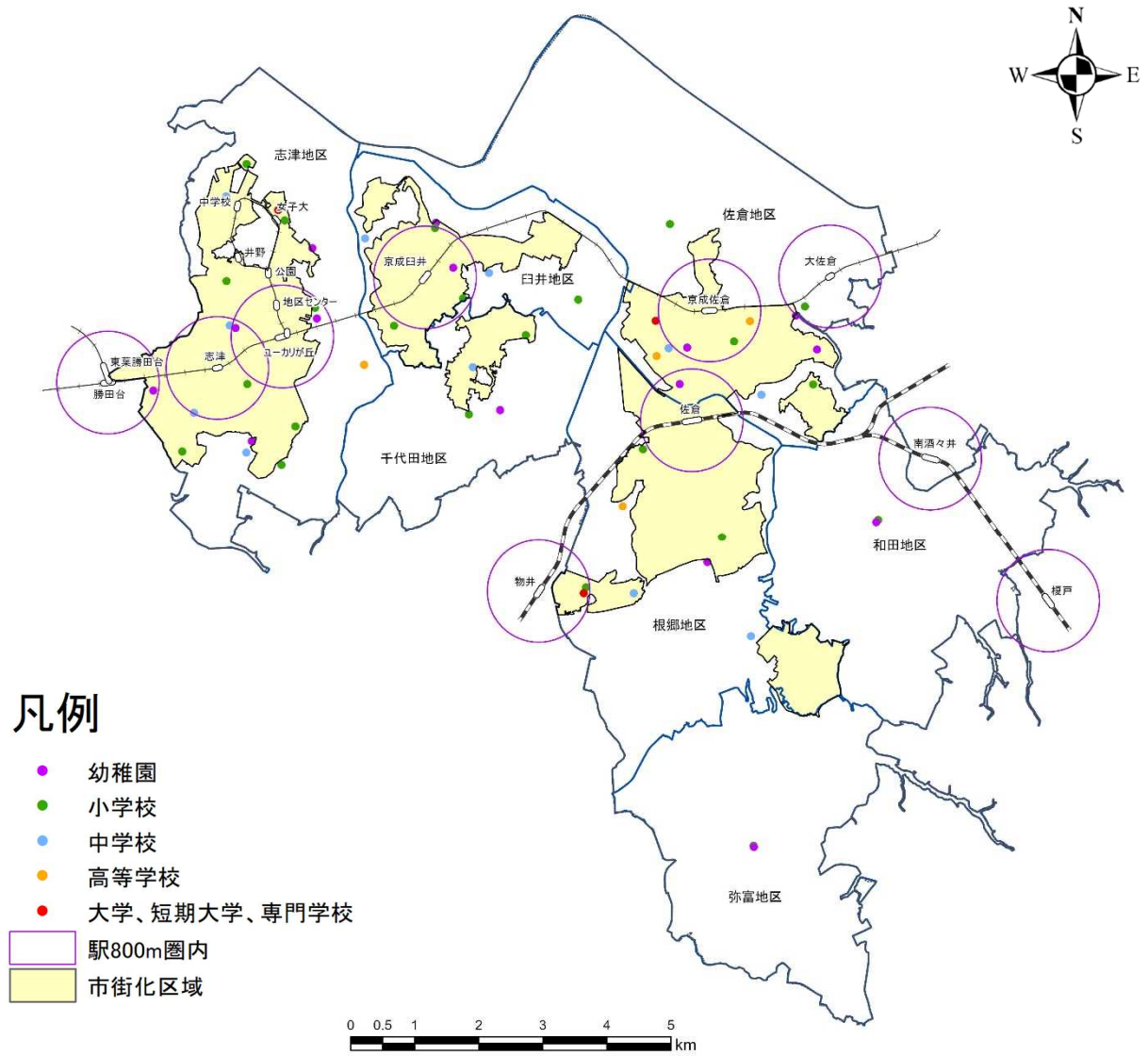


図 教育施設（幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学、短大、専門学校）の位置

⑧子育て支援施設（保育園・認定こども園・小規模保育事業）

- 保育園・認定こども園・小規模保育事業は、市全体に広く分布しています。
- 志津駅・ユーカリが丘駅、京成臼井駅は、駅 800m圏内に多くの施設が立地していますが、京成佐倉駅、大佐倉駅の駅 800m圏内には施設が立地していません。

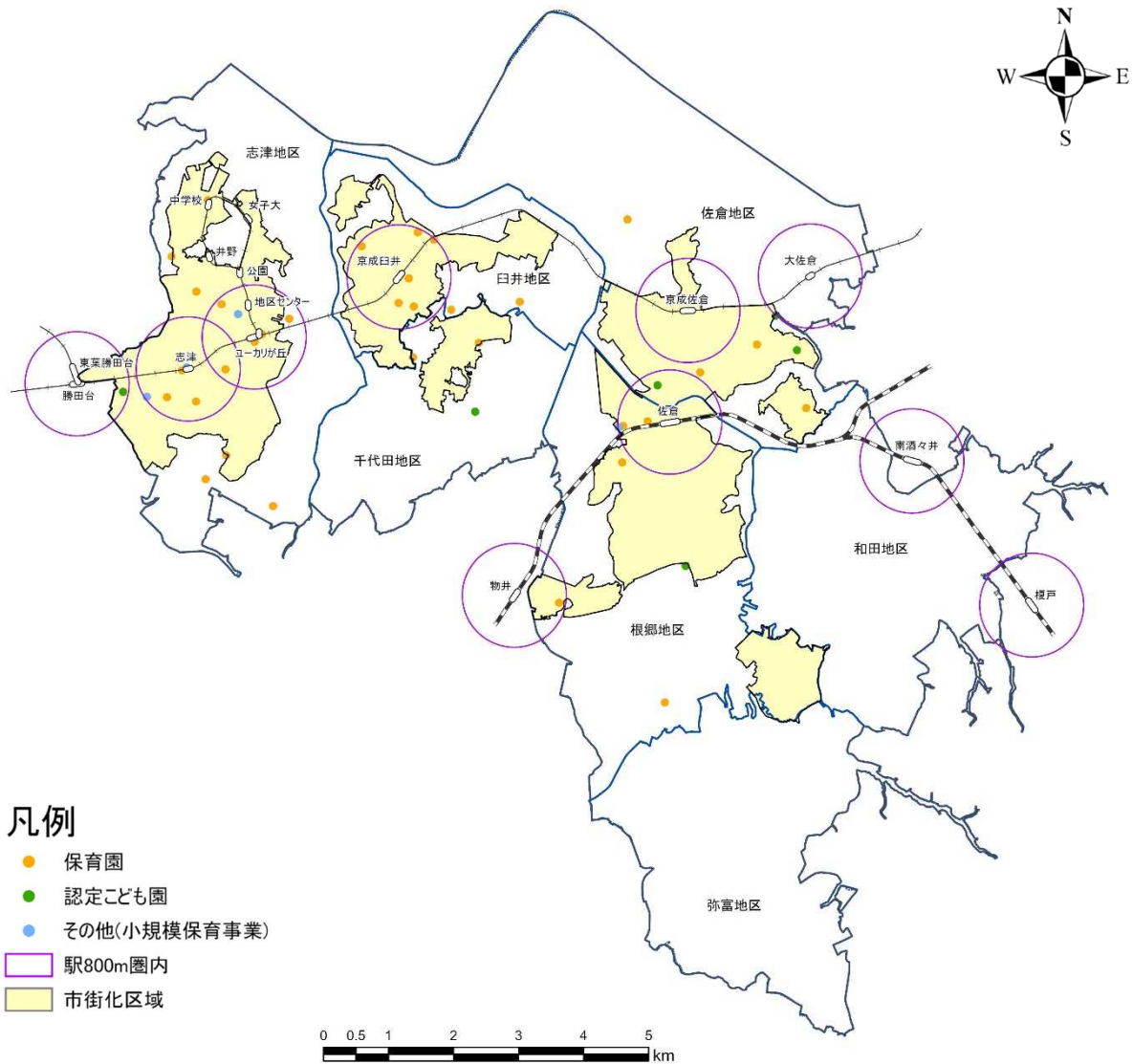


図 子育て支援施設（保育園・認定こども園・小規模保育事業）の位置

### ⑨子育て支援施設（学童保育）

○ 学童保育は、市全体に広く分布しています。

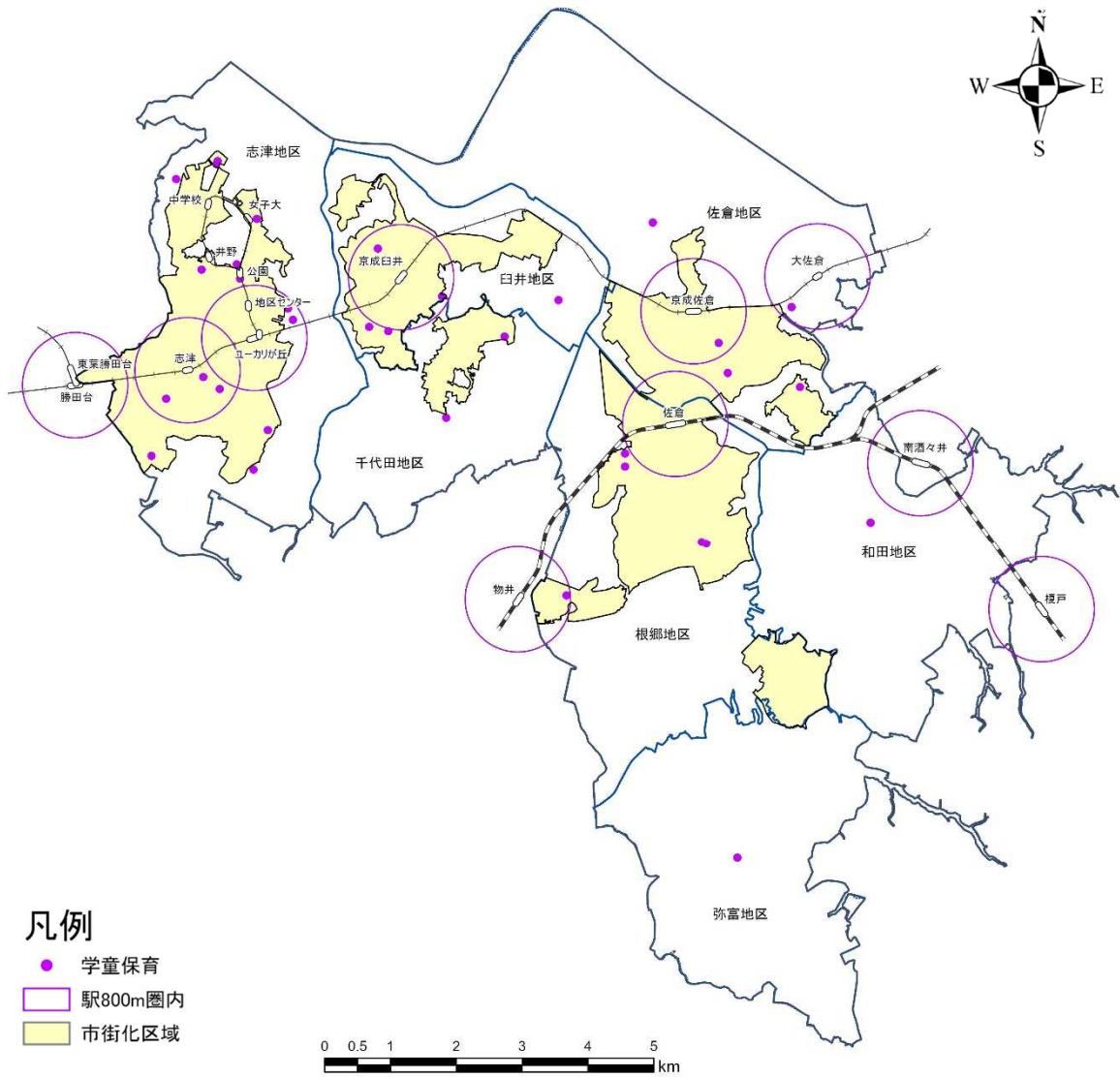


図 子育て支援施設（学童保育）の位置

⑩子育て支援施設（子育て支援センター）

○ 子育て支援センターは、市全体に広く分布していますが、特にユーカリが丘駅や京成臼井駅周辺に集中しています。

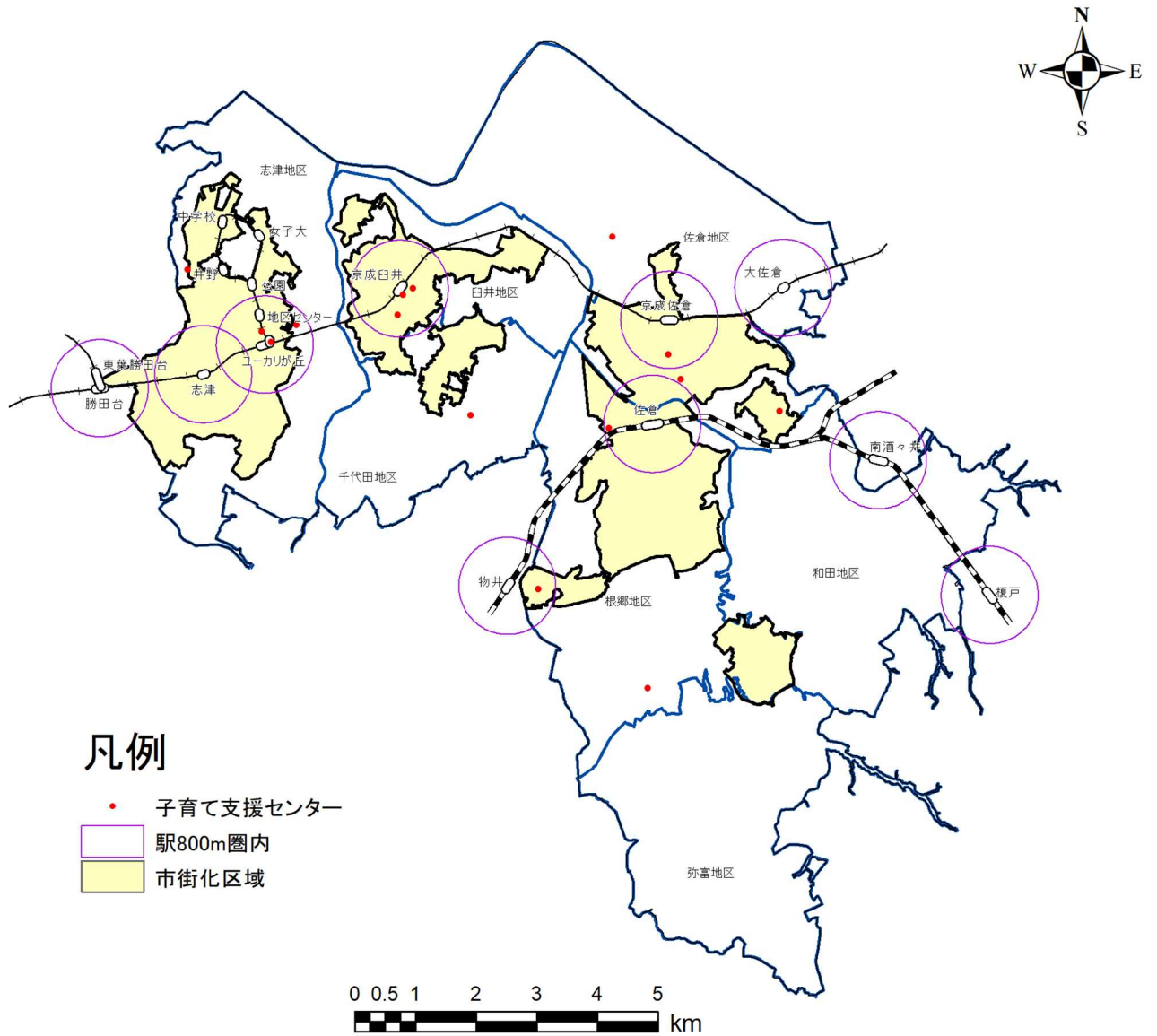


図 子育て支援施設（子育て支援センター）の位置

### ⑪子育て支援施設（児童センター・労幼の館）

- 児童センター・労幼の館は、市内に5か所立地しており、志津地域は駅 800m圏内に立地しています。

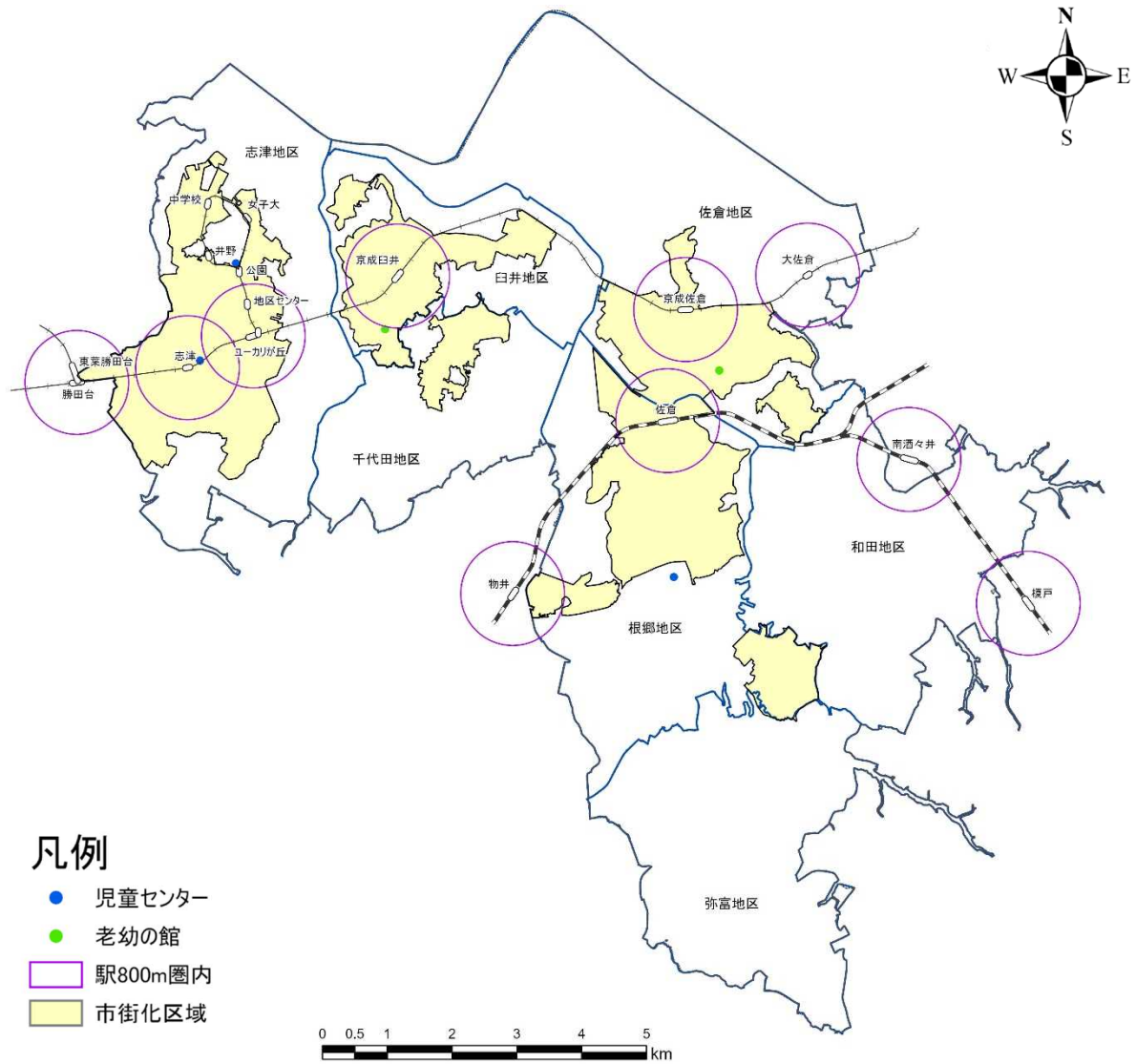


図 子育て支援施設（児童センター・労幼の館）の位置

⑫文化施設（図書館、図書分館、図書室）

○ 図書館、図書分館、図書室は、市内で6か所立地しており、市街化区域を中心に立地しています。

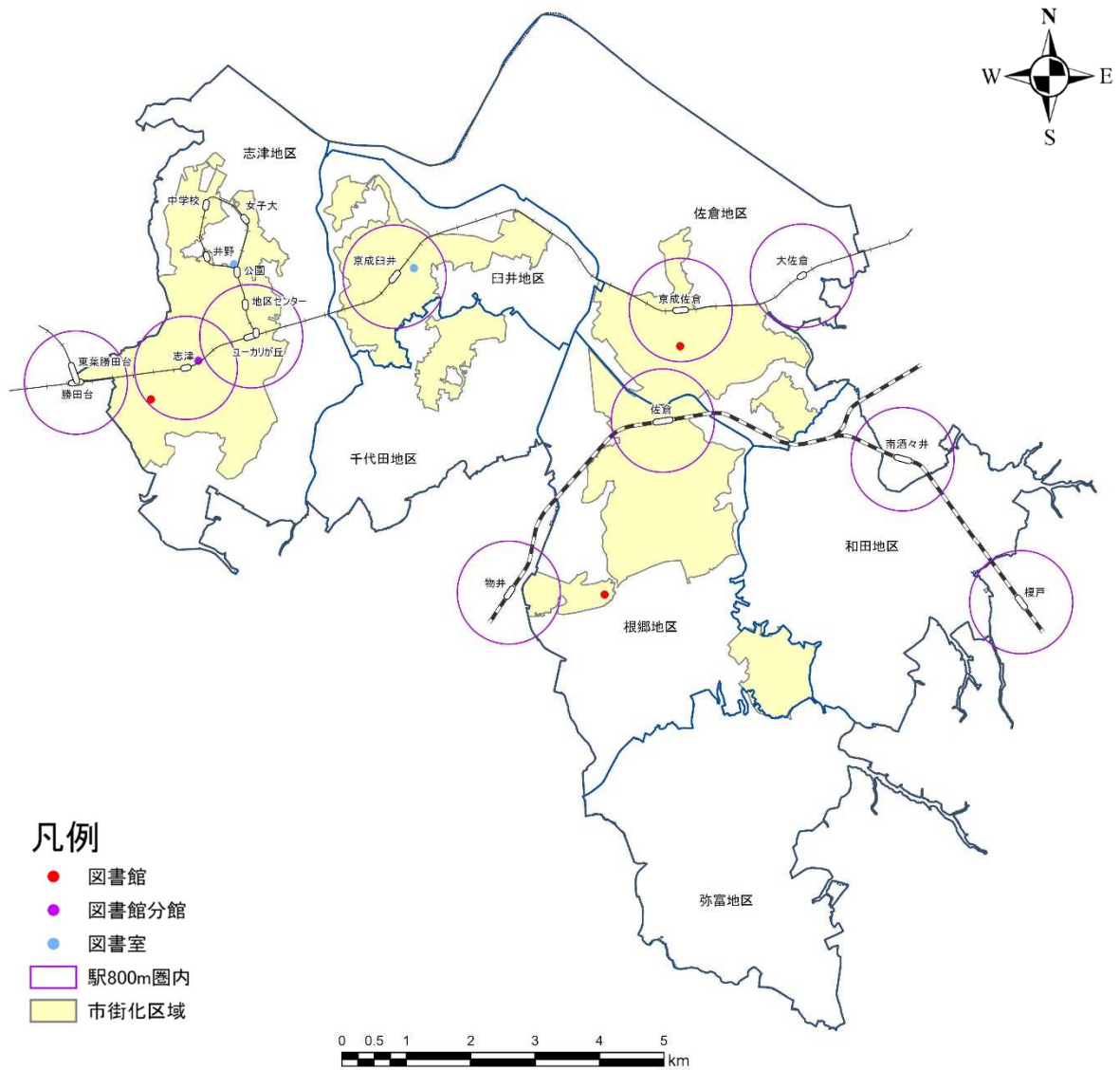


図 文化施設（図書館、図書分館、図書室）

### ⑬文化施設（その他文化施設）

- その他文化施設として、国立歴史民俗博物館や佐倉市立美術館、佐倉新町おはやし館、市民音楽ホールなどが立地しています。
- その他文化施設の多くが佐倉地区の市街化区域に集積しています。

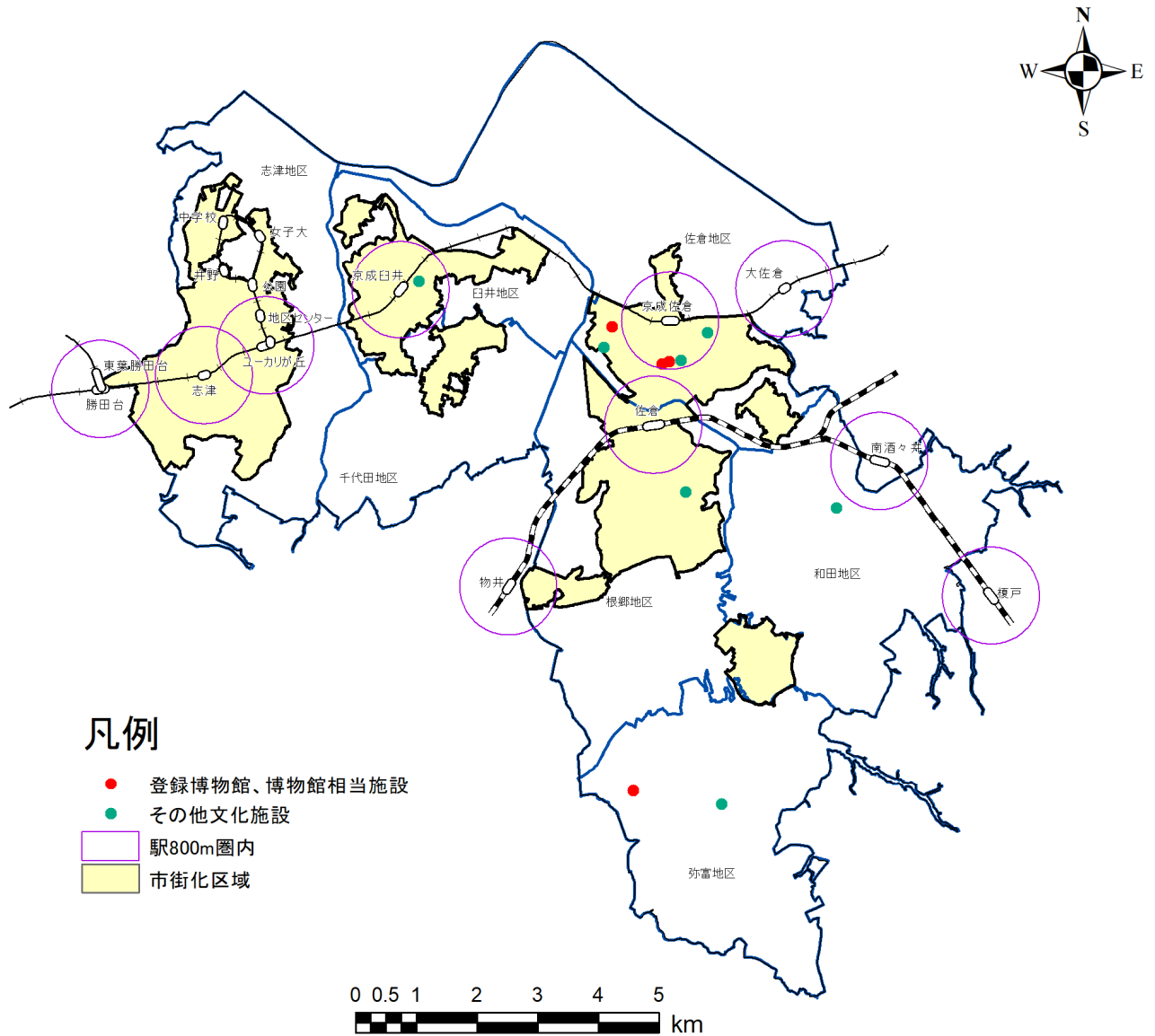


図 文化施設（その他文化施設）の位置



⑭商業施設（デパート・スーパーマーケット）

- 商業施設（大規模・小規模）は、市街化区域に立地しており、施設の多くは駅 800 m圏内に立地しています。

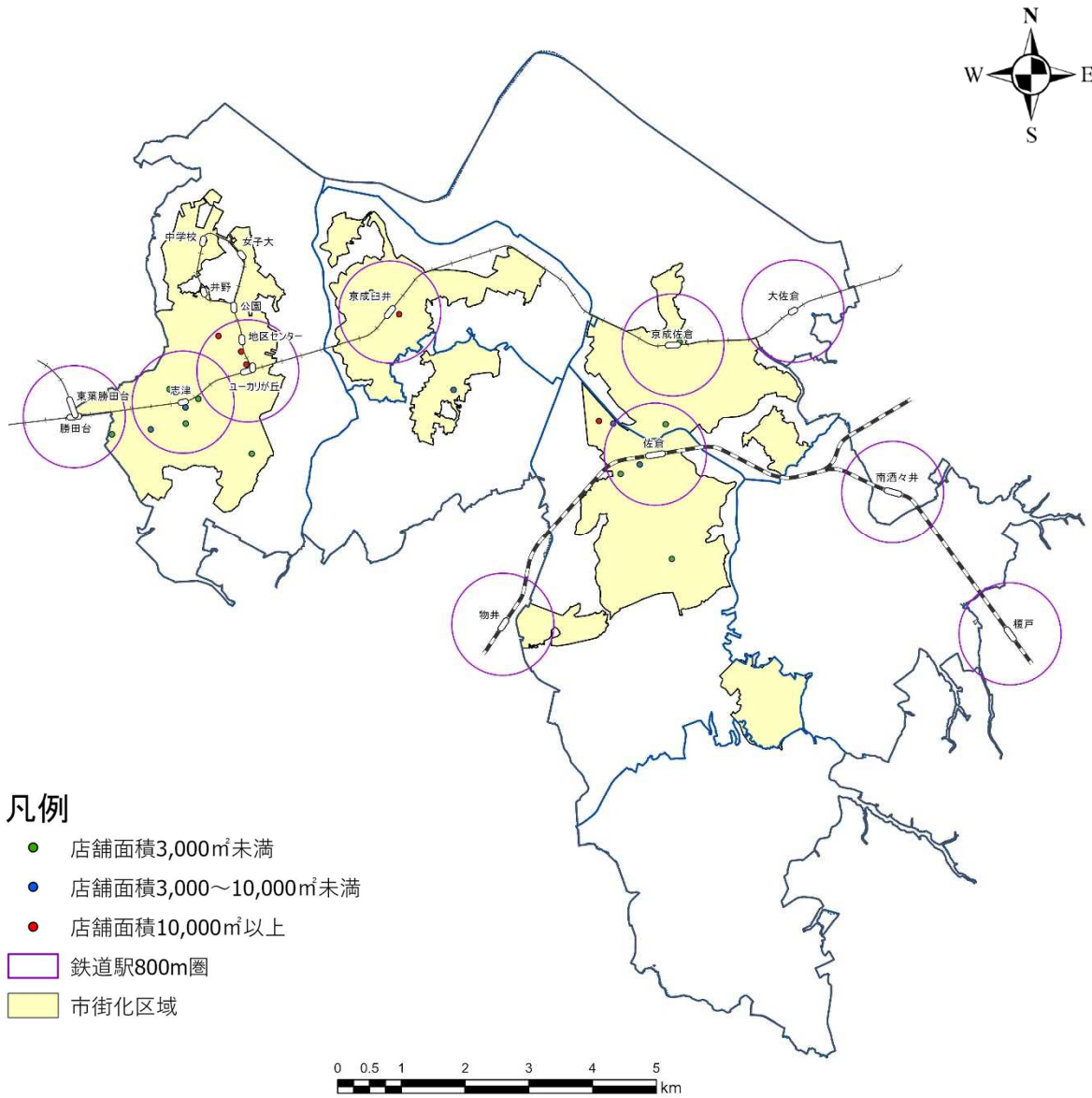


図 商業施設（大規模・小規模）の位置

⑮商業施設（コンビニエンスストア）

- コンビニエンスストアは、市街化区域、市街化調整区域問わず、市内各地に広く分布しています。

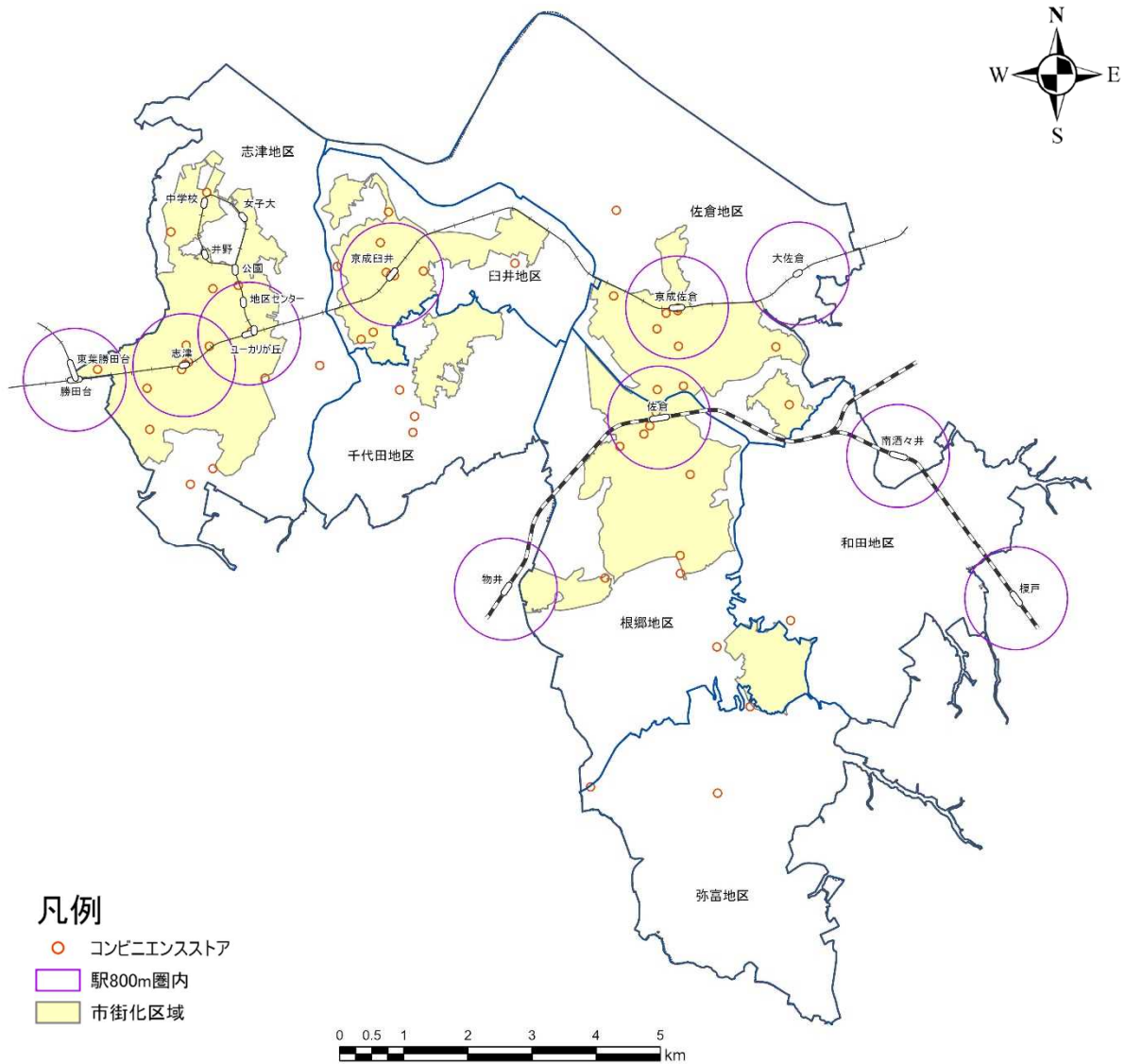


図 商業施設（コンビニエンスストア）の位置

⑩商業施設（銀行等、郵便局、簡易郵便局）

- 銀行等、郵便局、簡易郵便局は、市街化区域を中心に広がっており、特に駅 800m 圏内に施設が集積しています。

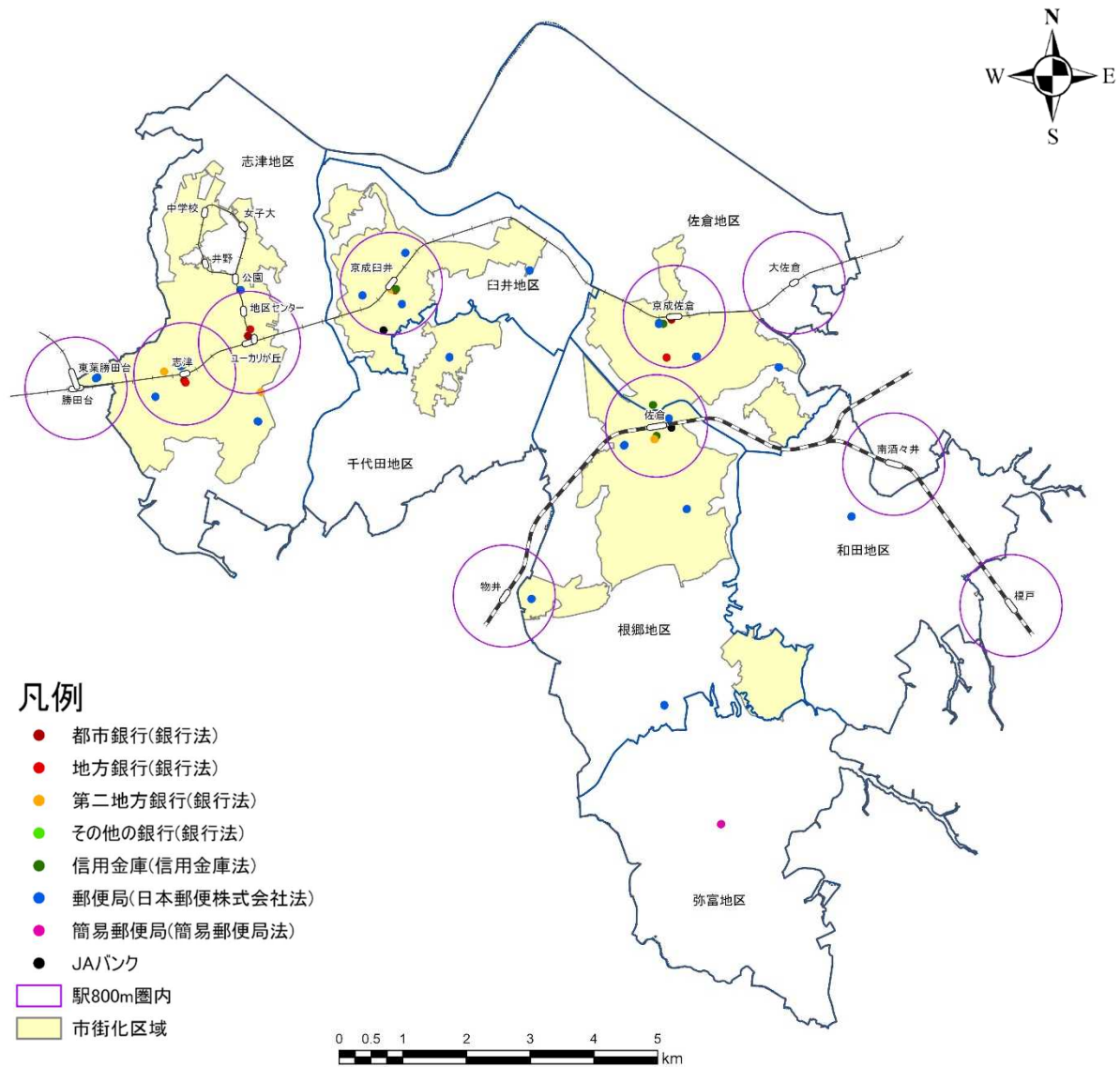


図 商業施設（銀行等、郵便局、簡易郵便局）の位置

⑰生活サービス施設等の総括図

A) 市域全体

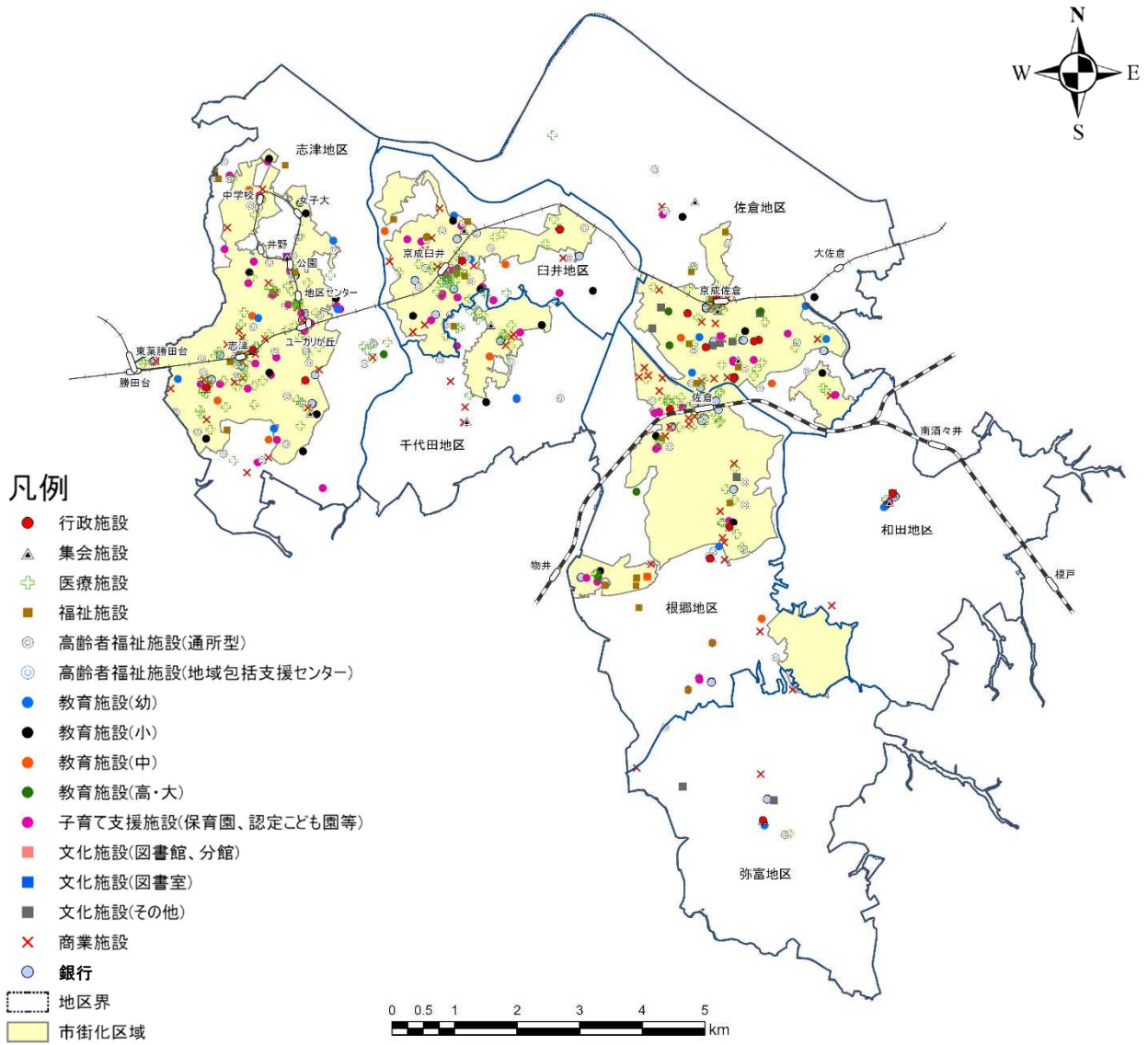
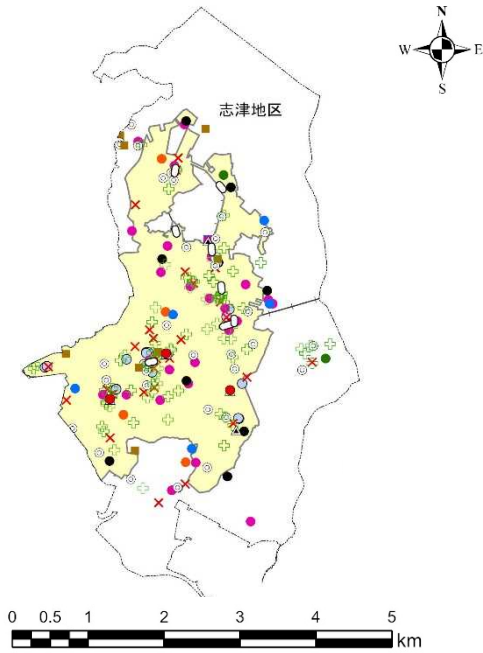


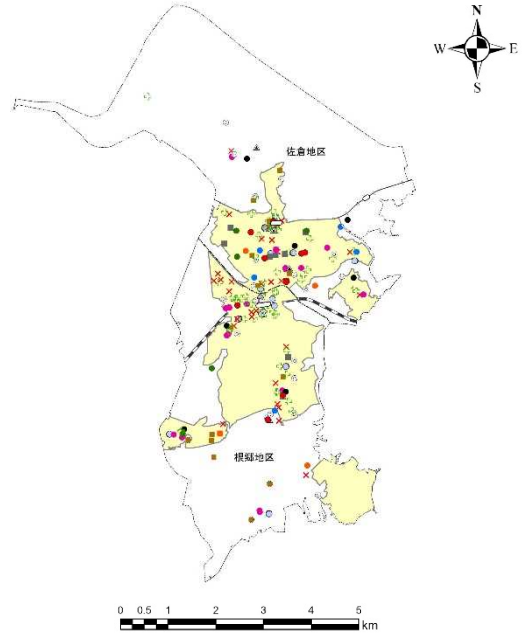
図 市域全体の生活サービス施設の位置図

B) 地域別

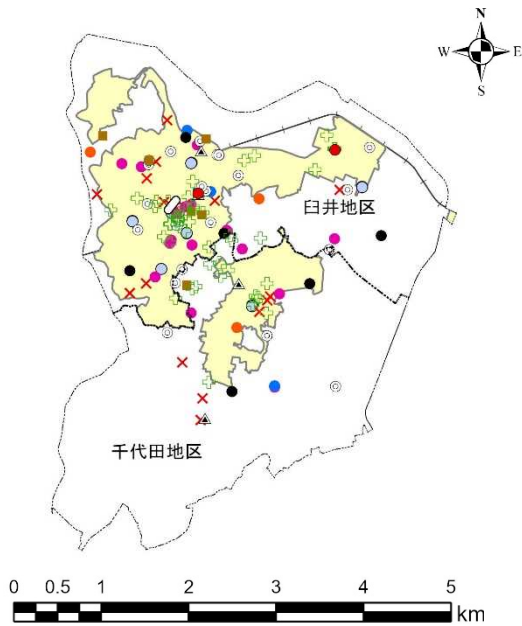
志津地域



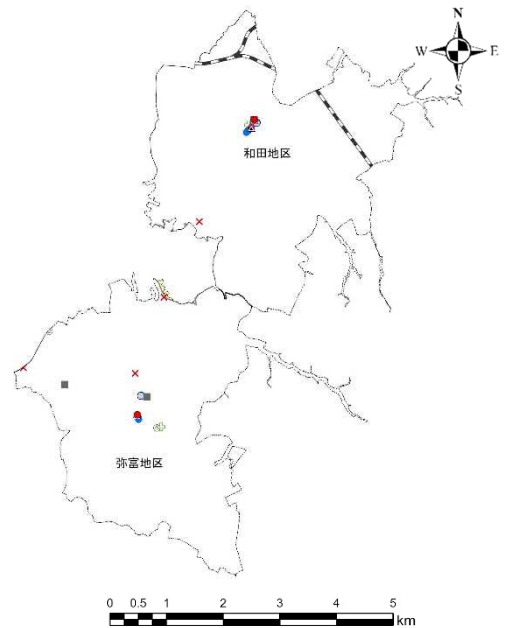
佐倉・根郷地域



臼井・千代田地



和田・弥富地域



凡例		
● 行政施設	● 教育施設(幼)	■ 文化施設(図書室)
▲ 集会施設	● 教育施設(小)	■ 文化施設(その他)
⊕ 医療施設	● 教育施設(中)	× 商業施設
■ 福祉施設	● 教育施設(高・大)	○ R銀行
⊙ 高齢者福祉施設(通所型)	● 子育て支援施設(保育園、認定こども園等)	⋯ 地区界
⊙ 高齢者福祉施設(地域包括支援センター)	■ 文化施設(図書館、分館)	■ 市街化区域

図 地区別の生活サービス施設の位置図

表 生活サービス施設の配置状況

施設類型	佐倉地区		臼井地区		志津地区		根郷地区		和地区	弥富地区	千代田地区
	市街化区域		市街化区域		市街化区域		市街化区域				
	京成00佐倉駅 から 800m以内	JR00佐倉駅 から 800m以内	京成00臼井駅 から 800m以内	志津00駅 から 800m以内	志津00駅 から 800m以内	志津00駅 から 800m以内	京成00臼井駅 から 800m以内	JR00佐倉駅 から 800m以内			
行政窓口	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公民館・コミュニティセンター等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
医療施設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福祉施設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高齢者福祉施設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教育施設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
子育て支援施設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
文化施設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小売施設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表 生活サービス施設ごとの徒歩域（半径 800m）内に含まれる人口の割合

大分類	施設	カバ－圏域	対象人口	現況 (R2)				将来 (R22)					
				総人口		カバ－人口		総人口		カバ－人口			
				市全体	うち市街化区域	市全体	うち市街化区域	市全体	うち市街化区域	市全体	うち市街化区域		
① 行政窓口 ② 公民館等 ③ 医療 ④ 福祉施設 ⑤ 高齢者福祉施設	すべて	800m	全人口	168,743	141,079	96,944	90,282	138,996	115,519	82,226	75,387	59%	65%
	すべて	800m	全人口	168,743	141,079	97,460	87,151	138,996	115,519	77,723	69,619	56%	60%
	すべて	800m	全人口	168,743	141,079	158,846	138,424	138,996	115,519	132,174	113,638	95%	98%
	すべて	800m	全人口	168,743	141,079	115,800	102,048	138,996	115,519	97,155	84,112	70%	73%
	通所型施設	800m	全人口	168,743	141,079	158,139	137,062	138,996	115,519	131,223	112,360	94%	97%
⑥ 教育施設	地域包括支援センター	800m	全人口	168,743	141,079	55,609	51,632	138,996	115,519	45,399	42,136	33%	36%
	幼稚園	800m	全人口	168,743	141,079	90,366	80,344	138,996	115,519	73,851	65,947	53%	57%
	小学校	800m	全人口	168,743	141,079	124,247	105,697	138,996	115,519	102,426	85,725	74%	74%
	中学校	800m	全人口	168,743	141,079	82,704	72,720	138,996	115,519	65,934	57,949	47%	50%
	高等学校・大学	800m	全人口	168,743	141,079	28,597	25,354	138,996	115,519	23,738	21,074	17%	18%
⑦ 子育て支援施設	保育園	800m	全人口	168,743	141,079	139,806	121,337	138,996	115,519	116,947	100,044	84%	87%
	子育て支援センター等	800m	全人口	168,743	141,079	96,106	85,367	138,996	115,519	83,673	72,836	60%	63%
	子育て支援センター	800m	全人口	168,743	141,079	72,762	63,440	138,996	115,519	65,282	55,582	47%	48%
	児童センター	800m	全人口	168,743	141,079	51,677	47,754	138,996	115,519	42,412	39,107	31%	34%
	図書館・分館・図書室	800m	全人口	168,743	141,079	64,731	61,047	138,996	115,519	52,305	49,378	38%	43%
⑧ 文化施設	図書館・分館	800m	全人口	168,743	141,079	42,515	41,579	138,996	115,519	34,352	33,653	25%	29%
	図書室	800m	全人口	168,743	141,079	22,217	19,469	138,996	115,519	17,953	15,725	13%	14%
	その他文化施設	800m	全人口	168,743	141,079	38,027	34,656	138,996	115,519	31,115	28,425	22%	25%
	デパート・スーパーマーケット	800m	全人口	168,743	141,079	158,053	136,749	138,996	115,519	131,567	112,496	95%	97%
⑨ 小売施設	デパート・スーパーマーケット	800m	全人口	168,743	141,079	116,390	106,291	138,996	115,519	100,071	89,644	72%	78%
	銀行等、郵便局、簡易郵便局	800m	全人口	168,743	141,079	130,329	117,397	138,996	115,519	108,261	96,332	78%	83%

カバ－率

80%以上

60%以上80%未満